

設計概要

工事名	国史跡二子塚古墳管理棟新築工事
建築場所	大阪府南河内郡太子町大字山田3380番1の一部
都市計画区域内	市街化調整区域
用途地域	指定なし
防火指定	指定なし（法第22条区域）
用途	展示室（駐輪場付）
構造・規模	鉄筋コンクリート造・1階建て
敷地面積	656.92㎡（198.71坪）
建築面積	81.78㎡（24.73坪）
建蔽率	12.45% < 60.00%
床面積	
1階	78.81㎡（23.84坪）
合計	78.81㎡（23.84坪）
容積率算定延べ面積	73.69㎡
容積率	11.22% < 200.00%
最高高さ	3.71m（地盤面からの高さ）
最高軒高	2.85m（地盤面からの高さ）
工事範囲	本体工事（建築工事、設備工事）

外部仕上表

屋根	ガルバリウム鋼板厚0.5瓦棒葺（たてひら） NM-8697 粘着式改良アスファルトシート厚1.0 下地パーライトモルタル厚40
外壁	コンクリート打放の上 下地薄塗モルタル 複層塗材Eローラー
腰	2丁掛けタイル圧着貼
軒裏	コンクリート打放の上 弾性リシン吹付
サッシ	アルミ
樋	軒樋 塩ビ製 PC50、 縦樋 塩ビ製 60φ

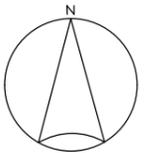
内部仕上表

室名	床	巾木	壁	天井	天井高	備考
展示室	300角タイル貼	—	コンクリート打放	ケイカル板厚6目透かし貼EP塗	2400~2750	
休憩スペース 通路	豆砂利洗い出し	—	コンクリート打放の上 下地薄塗モルタル 複層塗材Eローラー 腰：2丁掛けタイル圧着貼	同上	2500	ベンチ
女子便所	150角タイル貼	—	コンクリート打放の上 下地薄塗モルタル 複層塗材Eローラー 腰：モザイクタイル貼	同上	2400	天板 大理石 ピアノコ厚20
男子便所	同上	—	同上	同上	同上	同上
多目的便所	同上	—	同上	同上	同上	同上
倉庫	モルタル金鍍押え厚30	—	コンクリート打放	同上	2500	棚

特記事項

床	300角タイル貼（ピエトラクォーツ INAX 同等品）、150角タイル貼（ピアッツァOXシリーズ INAX 同等品）
腰（外壁周り）	2丁掛けタイル（火色音（ひいろね）釉もの 247×70×13 INAX 同等品）
腰（便所）	モザイクタイル貼（インテリアモザイク 美釉彩 300×300 100×7 INAX 同等品）
天井下地	LGS下地

※内装仕上、天井裏の建築材料、接着剤全てF☆☆☆☆材とする。



付近見取図

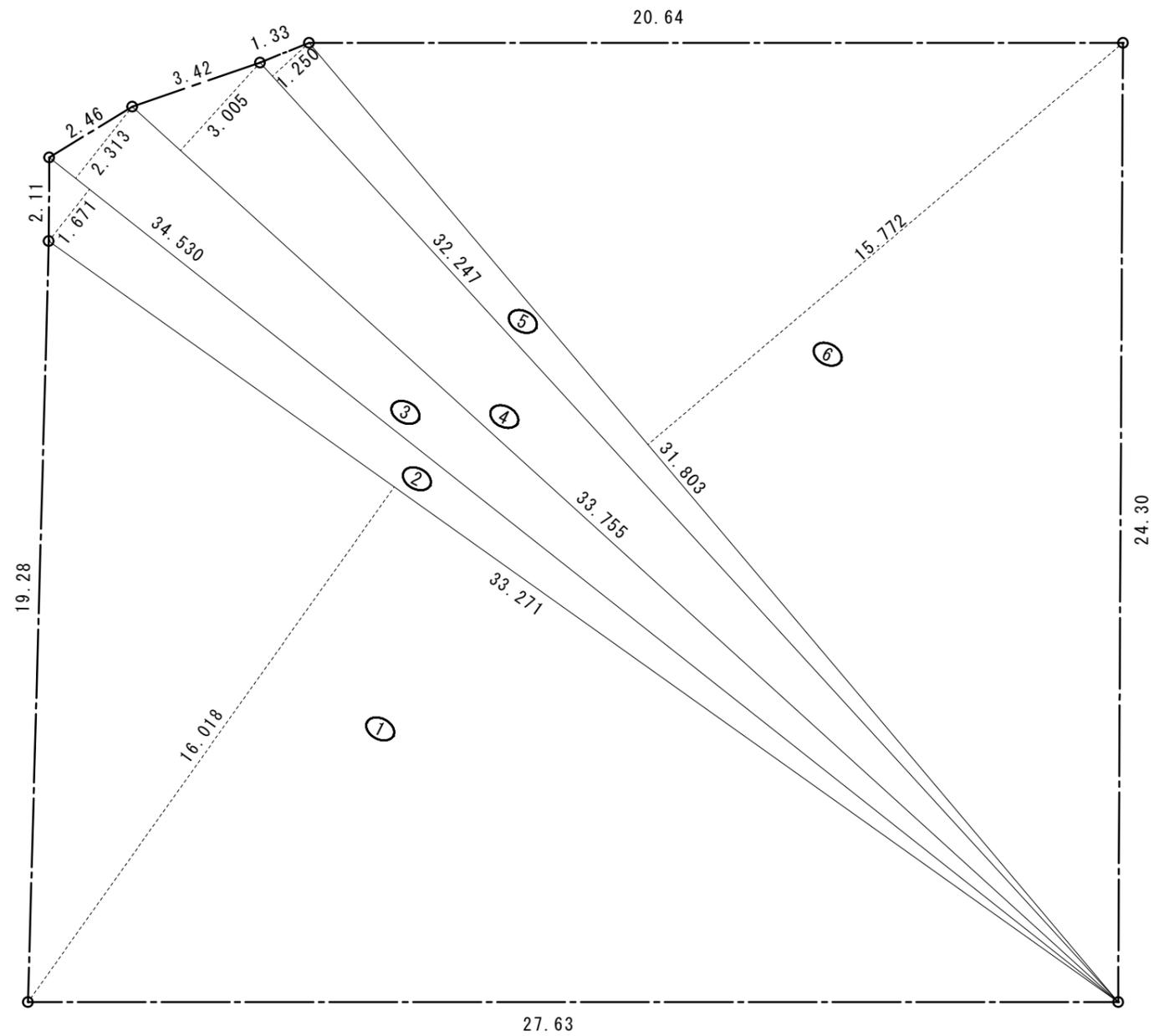
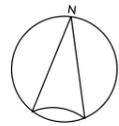
建築工事 特記仕様書 1

<p>共通事項</p> <p>1. 適用 本特記仕様書に記載されていない事項は、すべて日本建築業協会監修 建築工事共通仕様書2008年度版および 建築設備工事共通仕様書2008年度版による。 (共建-1)等の表示は、共通仕様書の当該項目、図、表を示す。 例 (共建-1)は建築工事共通仕様書1総則を示す。 特記事項は、○印のついたものを適用する。 ○印のない場合は※印のついたものを適用する。 ○印と○印のついたものは共に適用する。</p> <p>2. 優先順位 設計図書の優先順位は下記による。 (1) 見積要項 (現場説明記録、質疑応答記録を含む) (2) 特記仕様書 (3) 設計図 (4) 共通仕様書</p> <p>総則 (共建-1) (共設-1)</p> <p>○材料 材料で J I S ・ J A S の規格があるものはその規格による。 (3. 1) 施工業者・製造業者及び商品等は、特記されたもの又は係員が同等と認めたものとする。 施工業者・製造業者及び商品の記載については、順不同とする。 材料試験は下記の場合に行う。 (1) 本特記仕様書に記載のある場合 (2) 試験によらなければ、設計図書に定められた条件に適合することが証明できない場合</p> <p>・発生材の処理 (1. 10) ・特別管理産業廃棄物 () 処理方法 () ・現場において再利用を図るもの ()</p> <p>・揮発性有機化合物の室内濃度測定 ・要 (工事施工完了後、引渡し前までに指定した各室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、係員に報告する。) 測定値 () 測定項目 () 測定機関 () ○不要</p> <p>・支給機器・材料 (3. 5) ・有 (シートパイル 20m分)</p> <p>○工事写真等 (6. 1表) 撮影箇所 規格 提出方法 工事着手前 ○敷地の状況 (適宜) サービスサイズ A4版台紙張り 部 ○周囲建物の状況 (適宜) カラー フリーアルバム 1部 ○係員の指示する場所 工事中 ○各配筋完了時 サービスサイズ A4版台紙張り 部 ○各工事に工程に応じた係員の指示する箇所 カラー フリーアルバム 1部 竣工時 ○外部 (4面) キャビネ フリーアルバム 2部 ○内部 (4面) カラー パラ 部 ○航空写真 () ○竣工写真のネガサイズは(カラーキャビネ版)とする。 ○竣工写真の電子データ提出 ○有 ・無 ※竣工写真の撮影業者及び撮影箇所は係員の指示による</p> <p>○竣工図 ○竣工図の電子データの提出 ○有 2部 ・無 ○2つ折製本A4仕上の提出 ○有 3部 ・無 ○2つ折製本A3仕上の提出 ○有 1部 ・無</p> <p>仮設工事 (共建-2)</p> <p>○基礎地盤 係員が現地で決定する。 (2. 2) ○仮囲い ※要 (2. 3) ・不要 ○係員詰所 ※要(床面積 m²程度) ○不要 (2. 6) 係員詰所には電気、給排水、冷暖房、電話、FAX、その他必要な設備・備品を備える。 ○仮設電力・用水・他 竣工引渡し迄の工事で仮設電力、用水、ガスの使用費用は請負業者の負担とする。 (2. 10)</p>	<p>土工事 (共建-3)</p> <p>・敷地整理 (3. 2) ・山留め (3. 3) ※指定なし ・指定有り (工法) 現地盤土確認試験 ・行う ※行わない ・排水 (3. 5) 排水方法や排水のために必要な処置は下水道局との打合せによる ○埋戻し及び盛土 (3. 6) ・ A 種 ※ B 種 ・ C 種 ○建設発生土の処分 (3. 7) ※場外自由処分 ○場内処分 (ガラは場外処分)</p> <p>地業工事 (共建-4)</p> <p>○検査及び施工試験 (4. 1. 4) 試験杭 ・行う (図示) ・行わない 杭の載荷試験 ・鉛直試験 ・水平試験 ・引抜試験 地盤の平板載荷試験 ○行う (図示) ※行わない 材料 ・遠心力鉄筋コンクリート杭 (RC杭) ・プレテンション方式遠心力高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC杭) ・コンクリート杭 (PHC杭) ・外殻鋼管付コンクリート杭 (SC杭) ・鉄筋または平鋼を入れた杭 (PRC杭) ・拡張断面を有する遠心力高強度プレストレストコンクリート杭 (SC杭) ・その他特殊杭 () 継手 ※溶接継手 ・無溶接継手 () 杭頭処理及び杭頭補強 ※図示 工法 ・打込み杭工法 (4. 2. 3) ・セメントミルク工法、中掘工法、・プレローリング工法 (4. 3. 2) 材料 杭頭部、先端形状 ※図示 継手 ※溶接継手 充填コンクリート ・行う (図示) ※行わない さび止め塗装、ノンネガティブ処理 ・行う (図示) ※行わない 電気防食処理 ・行う (図示) ※行わない 工法 ・打込み杭工法 (4. 3. 3) ・埋込み杭工法 ・特定杭工法 () (4. 4. 3) 材料 セメントの種類・普通ポルトランドセメント ※高炉セメントB種 設計基準強度 ・F_c N/mm² スランブ ・ cm 鉄筋 ・D 以下SD295A ・D 以上SD345 ・D 以上SD390 鋼材 ・S S 400 工法 ・拡張杭工法 (認定工法) (4. 4. 4) ・アースドリル工法 ・ベント工法 ・リバースサーキュレーション工法 ・深礎工法 材料 セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 設計基準強度 ・F_c N/mm² スランブ ・ cm 鉄筋 ・D 以下SD295A ・D 以上SD345 ・D 以上SD390 鋼材 ・S S 400 工法 (4. 5. 3) 工法 セメント系固く化攪拌 (4. 6. 3) 現地盤土確認試験 ・行う ※行わない 材料 ・切込み砂利 ・砕石 ○再生クラッシャーラン (4. 7. 2) 厚さ ・50 ・60 ○100 ○150 材料 設計基準強度 ○F_c 15 N/mm² (4. 7. 2) スランブ ○15 cm 厚さ ○50 ・60 ・100 ポリエチレンフィルム○0.15 二重敷</p> <p>鉄筋工事 (共建-5)</p> <p>○鉄筋 種類 ○SD295 ○SD345 (※D19以上) ・SD390 (※D29以上) D16以下 ○重ね継手 (5. 3. 3) D19以上 ○ガス圧接継手 ・溶接継手 () ・機械式継手 () ・図示 ・既製品 () (5. 5. 1) 外観検査 ※全数 (5. 6. 2) 抜き取り検査 ・超音波深傷法 (※ヶ所) / 検査ロット ・引張検査法 (※3個) / 検査ロット</p> <p>コンクリート工事 (共建-6)</p> <p>○共通事項 使用箇所 基礎コンクリート 土間コンクリート 捨てコンクリート コンクリートの種類 (3. 2) ※普通 ※普通 ※普通 ・軽量 ・軽量 ・軽量 設計基準強度 (N/mm²) (3. 3) ○18 ○21 ○25 ・18 ・21 ・18 ・24 ・24 ・21 ・ - - - セメントの種類 (2. 2) ※普通ポルトランドセメント ※普通ポルトランドセメント ※普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・高炉セメントB種 ・高炉セメントB種 混和材料 (2. 5) ※A E 減水剤 ※A E 減水剤 ※A E 減水剤 ・高性能A E 減水剤 ・高性能A E 減水剤 ・高性能A E 減水剤 スランブ (cm) (3. 5) ・18 ・18 ・18 ○5 ○5 ○5 単位水量の最大値 (kg/m³) (3. 6) ※185 ※185 ※185 ・ - - - 試し練りの要否 (8. 5) ・要 ・要 ・要 ○不要 ○不要 ○不要 備考 種類 ・1種 ・2種 (11. 2) 気乾単位体積質量 t/m³ (11. 2) プレストレス導入時の圧縮強度 N/mm² (14. 5) 空気量 % (15. 3) 水セメント比 (15. 3) 水セメント比 (16. 3)</p> <p>鉄骨工事 (共建-7)</p> <p>・鉄骨加工工場 (7. 1. 3) ・使用材料 (7. 2. 1) ・Sグレード ・Hグレード ・Mグレード ・Rグレード ・Jグレード ・その他 ・S N 400A ・S N 400B ・S N 400C ・S N 490B ・S N 490C ・S S 400 ・S M 490 A ・S M 490 B ・B C R 295 ・B C P 235 ・B C P 325 ・S T K R 400 ・S T K R 490 ・S N R 40 B ・S T K N 400 ・S T K N 490 ・S T K 400 ・S T K 490 ・S S C 4 0 0 ・高力ボルト (7. 2. 2) ・トルシア形高力ボルト (S10T) ・J I S 高力ボルト (F10T) ・溶融亜鉛めっき高力ボルト (F8T相当) ・アンカーボルト (7. 2. 4) ※構造用ボルト (A種) (材質:) ・建方用ボルト (B種) (材質:) (7. 9. 2)</p>	<p>・ターンバックル (7. 2. 7) ・デッキプレート (7. 2. 8) ・高力ボルトの締付試験 (7. 3. 7) ・溶接技量付加試験 (7. 4. 3) ・溶接部の検査 (7. 4. 5. 6) ・工場溶接部 ・超音波探傷試験 完全溶込み溶接部の % ・外観検査 完全溶込み溶接部の % ・現場溶接部 ・超音波探傷試験 完全溶込み溶接部の % ・外観検査 完全溶込み溶接部の % (注) 検査は第三者検査とし、D1W認定 (種以上) の検査会社とする。 (7. 8. 1) ・さび止め塗装</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>材料</th> <th>塗回数</th> <th>素地調整</th> </tr> <tr> <td>屋内 ・ J I S K 5621</td> <td>工場 1 回 現場 1回</td> <td>・2種 (st2) ・但し組立後塗装不可能な場合は 工場 2 回塗</td> </tr> <tr> <td>屋外 ・ J I S K 5625</td> <td>工場 回 現場 回</td> <td>・2種 (st2)</td> </tr> </table> <p>・ J I S K 5621 現場塗装の場合のホルムアルデヒド放散量による区分 ※ F☆☆☆☆ (7. 11) ・種別 ・所要性能 ・30分耐火 () ・1時間耐火 () ・2時間耐火 ()</p> <p>ブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事 (共建-8) ○補強コンクリートブロック 材料 種類 ※C種ブロックの100 タテD10φ400 ヨコD10φ600 (8. 2. 2) ・ALCパネル (8. 3. 2) ・ALCデザインパネル 製品の指定 シボレックス、旭化成へーベル または同等品</p> <p>防水工事 (5. 2. 1表~5. 2. 2表)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>材料種</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・塗膜防水</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・シート防水</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・伸縮目地</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・立ち上がり隅切りコーナ</td> <td>材料 ※既製品</td> <td></td> <td>・モルタル (1. 2)</td> </tr> <tr> <td>・保証年限</td> <td>材料 ※既製品</td> <td></td> <td>※要 (10)年 (2. 4)</td> </tr> <tr> <td>・水張り試験</td> <td>※要 () ・不要 種別等</td> <td></td> <td>(6. 2表)</td> </tr> </table> <p>○シーリング MS-2 変性シリコン サッシ周囲 ※シリコンシーリング材は、防カビ性・防汚染性のものを使用する</p> <p>石工事 ○材料 便所面台 大理石ビアンコ</p> <p>タイル工事 ○材料 図番D-11による</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>メーカーリスト (下記メーカーまたは同等品とする)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイル</td> <td>INAXまたは同等品</td> </tr> <tr> <td>アルミサッシ</td> <td>Y K K a p、リクシル、三協立山</td> </tr> <tr> <td>シャッター</td> <td>東洋シャッター、三和シャッター、文化シャッター</td> </tr> <tr> <td>トイレブース</td> <td>小松ウォール、パンボー工業、三和シャッター</td> </tr> <tr> <td>スチールドア</td> <td>三和シャッター、Y K K a p、東洋シャッター、</td> </tr> </table>	材料	塗回数	素地調整	屋内 ・ J I S K 5621	工場 1 回 現場 1回	・2種 (st2) ・但し組立後塗装不可能な場合は 工場 2 回塗	屋外 ・ J I S K 5625	工場 回 現場 回	・2種 (st2)	材料種	施工箇所	種別	備考	・塗膜防水				・シート防水				・伸縮目地				・立ち上がり隅切りコーナ	材料 ※既製品		・モルタル (1. 2)	・保証年限	材料 ※既製品		※要 (10)年 (2. 4)	・水張り試験	※要 () ・不要 種別等		(6. 2表)	メーカーリスト (下記メーカーまたは同等品とする)		タイル	INAXまたは同等品	アルミサッシ	Y K K a p、リクシル、三協立山	シャッター	東洋シャッター、三和シャッター、文化シャッター	トイレブース	小松ウォール、パンボー工業、三和シャッター	スチールドア	三和シャッター、Y K K a p、東洋シャッター、
材料	塗回数	素地調整																																																	
屋内 ・ J I S K 5621	工場 1 回 現場 1回	・2種 (st2) ・但し組立後塗装不可能な場合は 工場 2 回塗																																																	
屋外 ・ J I S K 5625	工場 回 現場 回	・2種 (st2)																																																	
材料種	施工箇所	種別	備考																																																
・塗膜防水																																																			
・シート防水																																																			
・伸縮目地																																																			
・立ち上がり隅切りコーナ	材料 ※既製品		・モルタル (1. 2)																																																
・保証年限	材料 ※既製品		※要 (10)年 (2. 4)																																																
・水張り試験	※要 () ・不要 種別等		(6. 2表)																																																
メーカーリスト (下記メーカーまたは同等品とする)																																																			
タイル	INAXまたは同等品																																																		
アルミサッシ	Y K K a p、リクシル、三協立山																																																		
シャッター	東洋シャッター、三和シャッター、文化シャッター																																																		
トイレブース	小松ウォール、パンボー工業、三和シャッター																																																		
スチールドア	三和シャッター、Y K K a p、東洋シャッター、																																																		

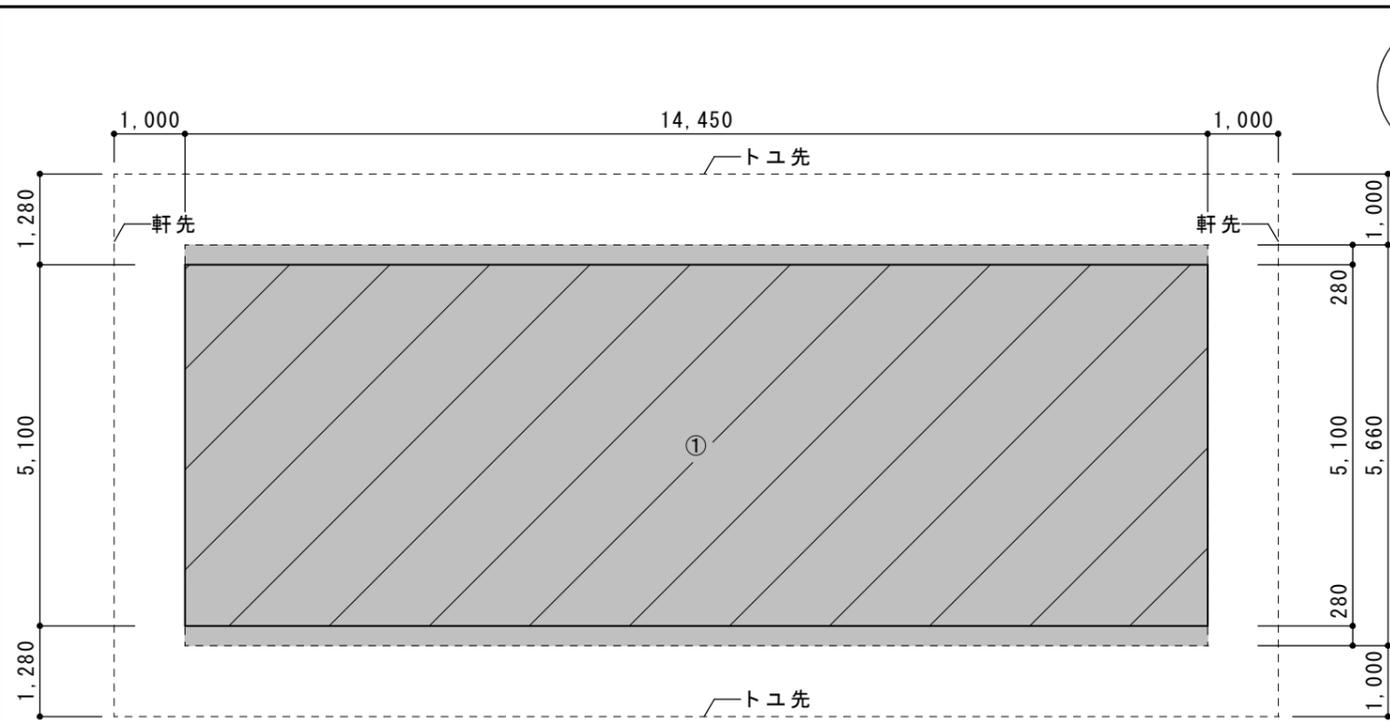
建築工事 特記仕様書 2

Main specification table with multiple columns for materials, construction methods, and performance requirements. Includes sections for roof, floor, wall, and window specifications.

Project information block including design number (設計番号), design date (設計年月日), project name (国史跡二子塚古墳管理棟新築工事), and architect details (株式会社 松村設計).



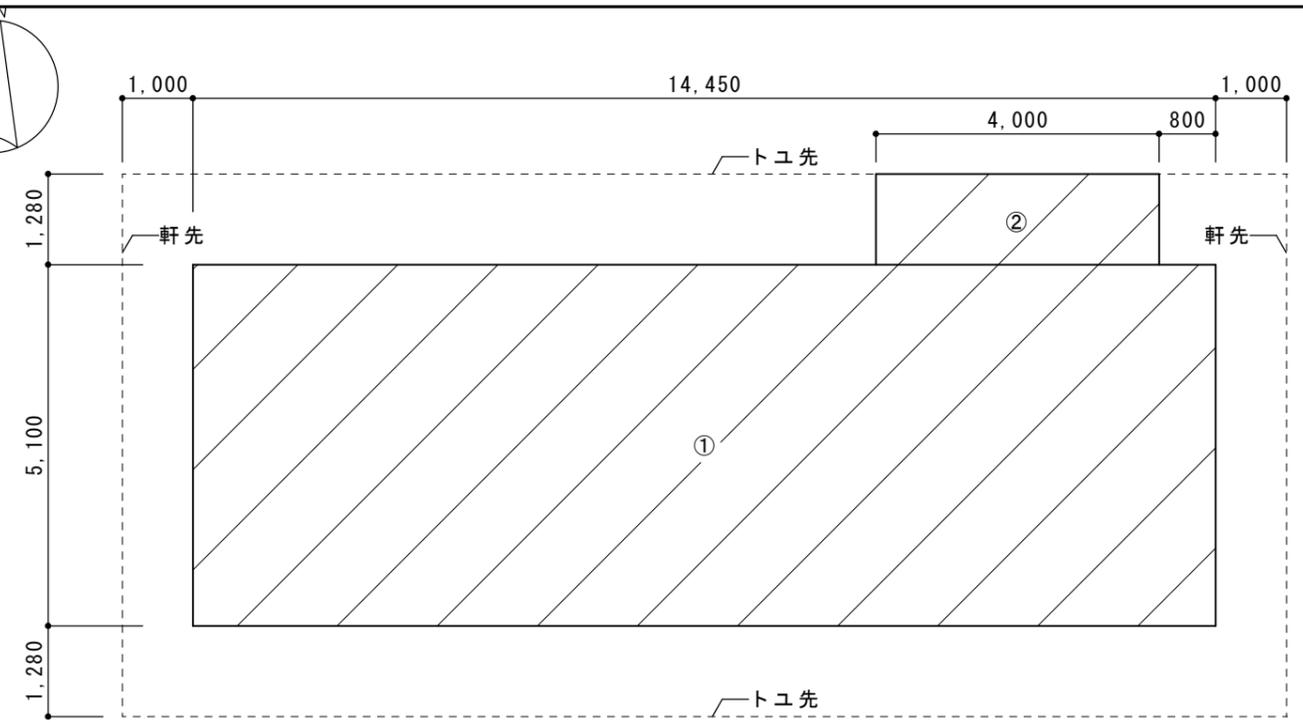
番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	33.271	16.018	532.934878	266.4674390
2	34.530	1.671	57.699630	28.8498150
3	34.530	2.313	79.867890	39.9339450
4	33.755	3.005	101.433775	50.7168875
5	32.247	1.250	40.308750	20.1543750
6	31.803	15.772	501.596916	250.7984580
合計				656.9209195
敷地面積				656.92 m ²



建築面積求積図

建築面積 (㎡)		
①	14.45	5.66
	計	81.787
	合計	81.78

建蔽率 12.45%

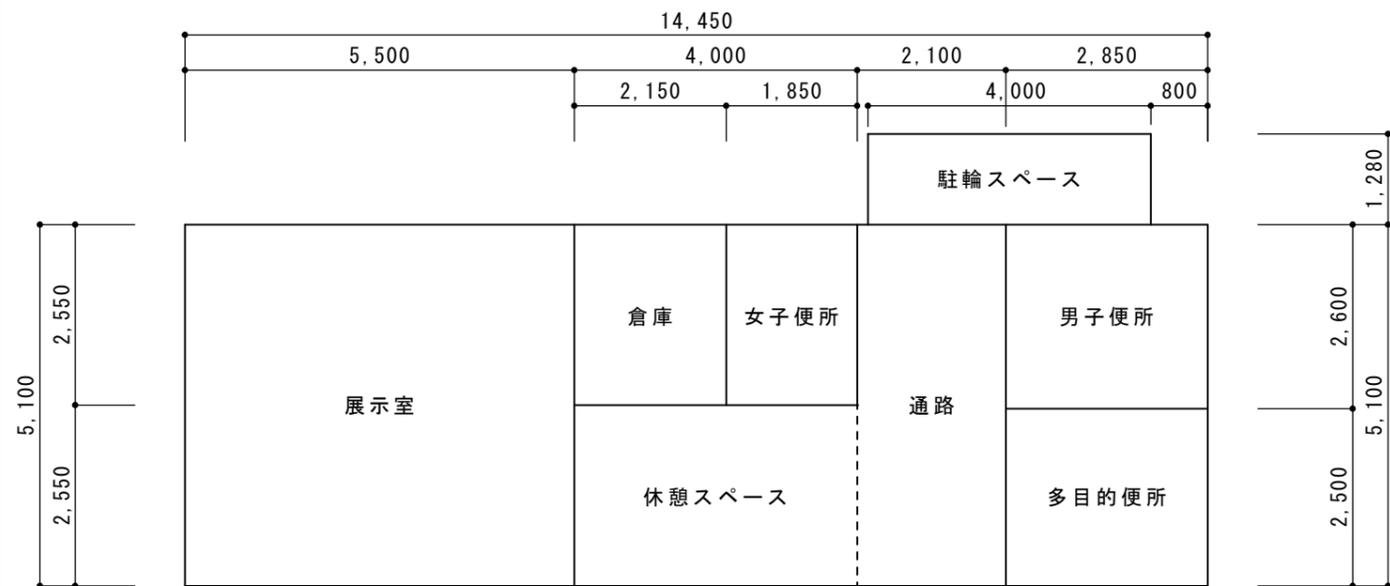


1階床面積求積図

1階床面積 (㎡)		
①	14.45	5.10
②	4.00	1.28
	計	78.815
	合計	78.81

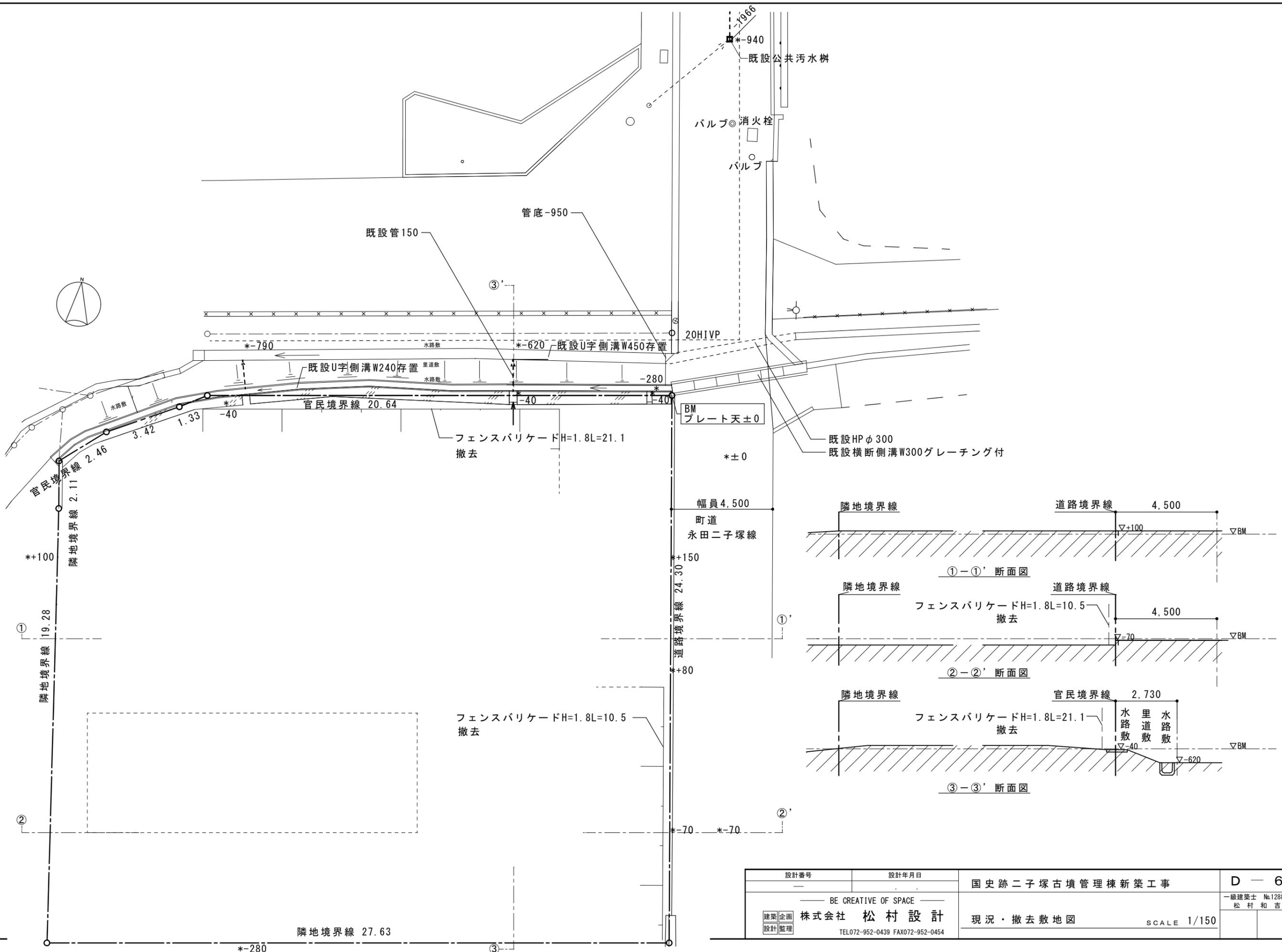
延床面積 78.81㎡
(容積率算定延べ床面積73.69㎡)

容積率 11.22%

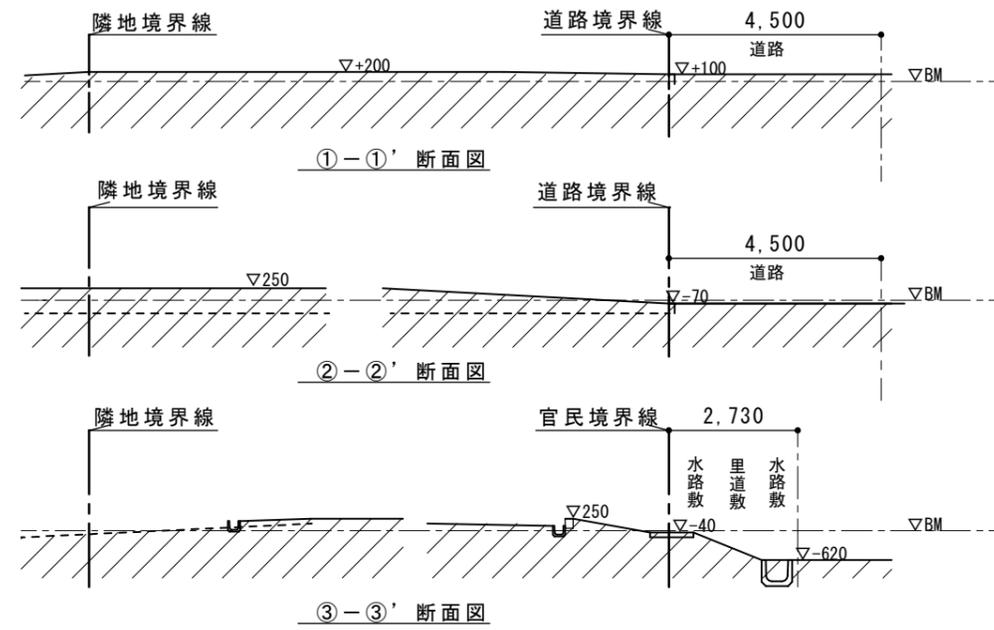
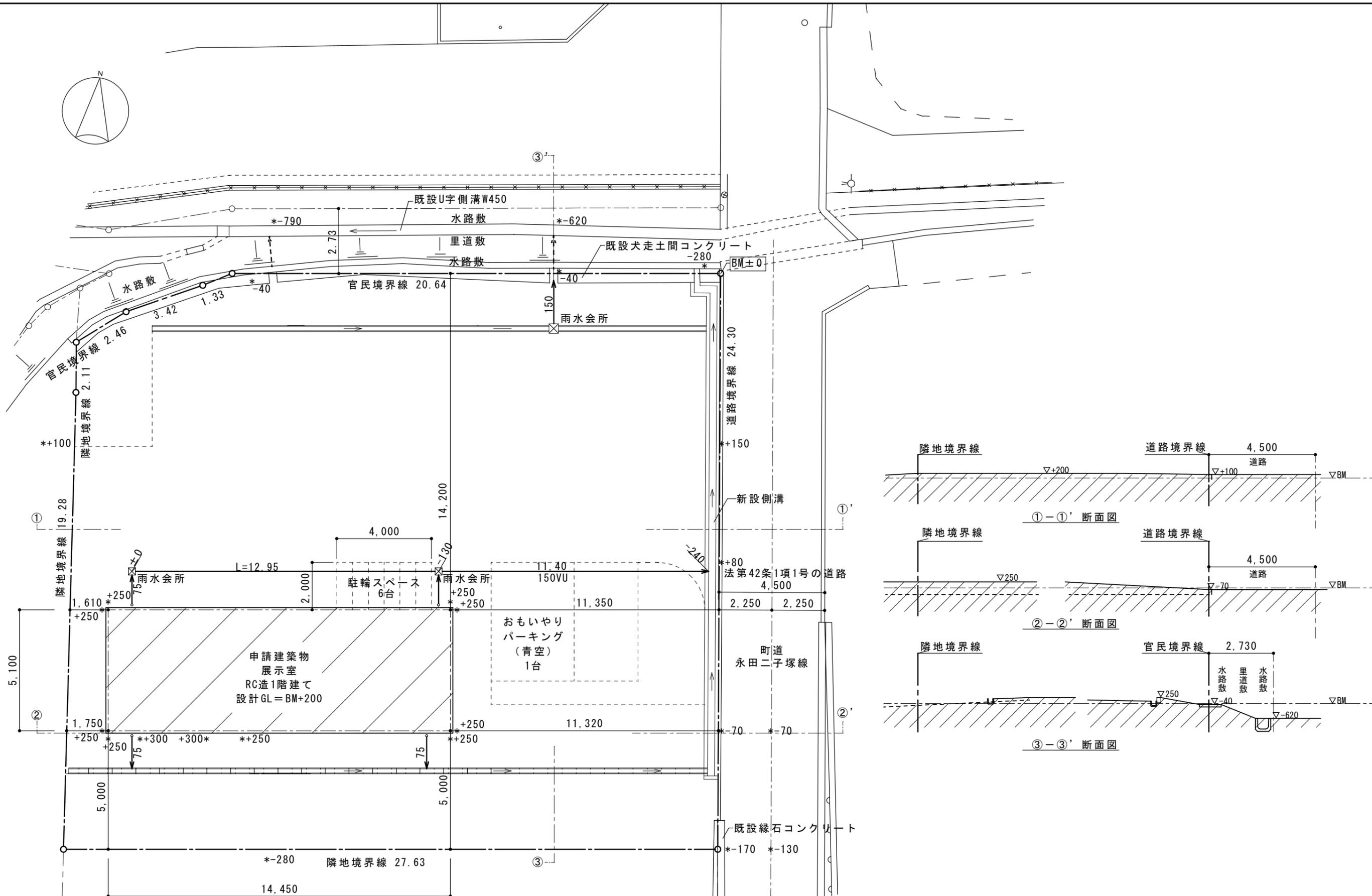
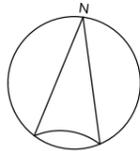


各室床面積求積図

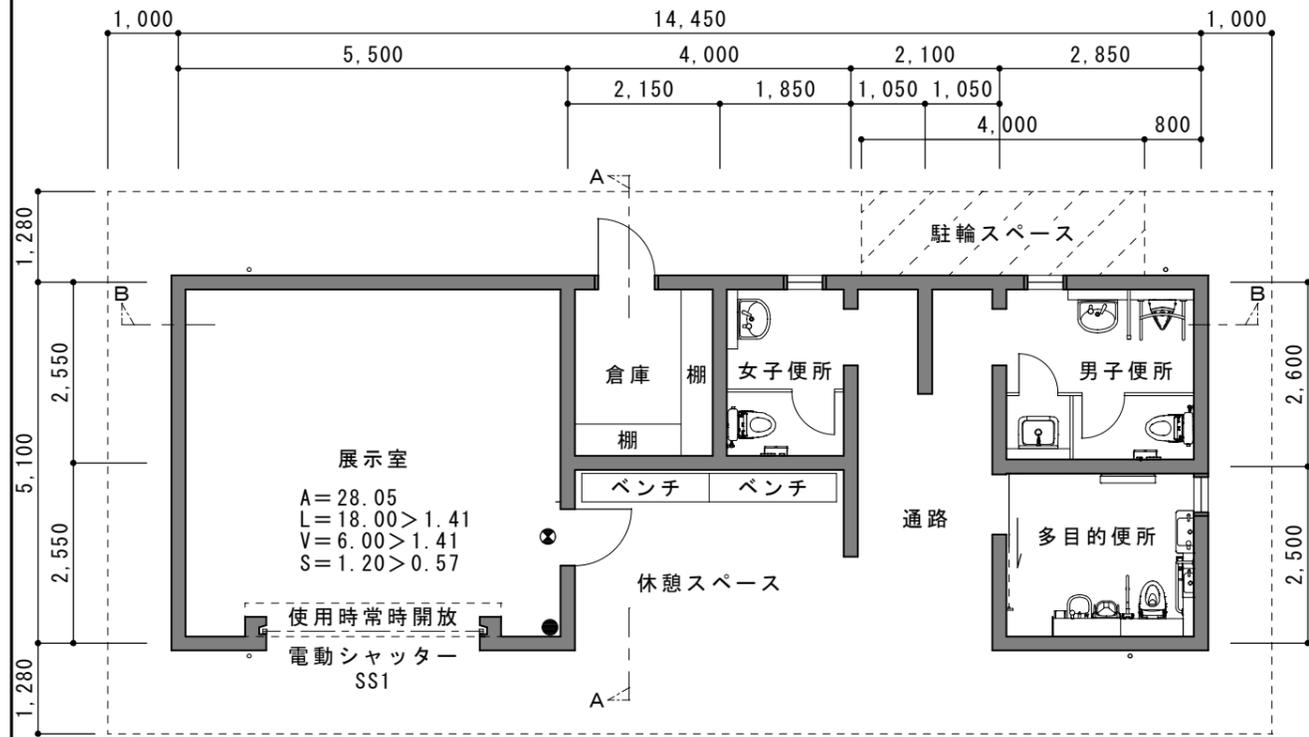
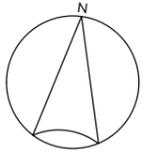
各室床面積 (㎡)		
室名	式	合計
展示室	5.50 x 5.10	28.05
休憩スペース	4.00 x 2.55	10.20
倉庫	2.15 x 2.55	5.4825
女子便所	1.85 x 2.55	4.7175
男子便所	2.85 x 2.60	7.41
多目的便所	2.85 x 2.50	7.125
通路	2.10 x 5.10	10.71
駐輪スペース	4.00 x 1.28	5.12
	計	78.815
	合計	78.81



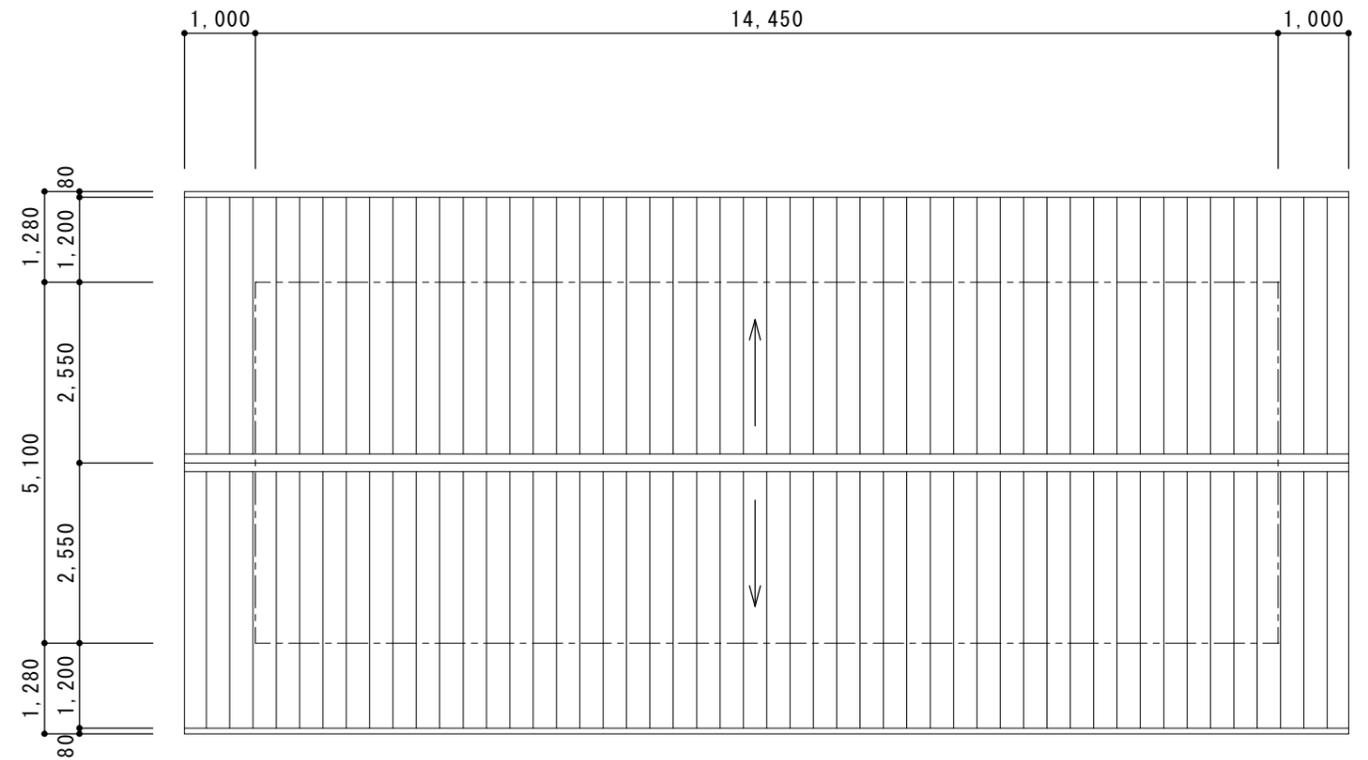
設計番号	設計年月日	国史跡二子塚古墳管理棟新築工事	D - 6
BE CREATIVE OF SPACE		現況・撤去敷地図	一級建築士 No.128866 松村和吉
建築 設計	企画 監理	株式会社 松村設計	SCALE 1/150
TEL072-952-0439 FAX072-952-0454			



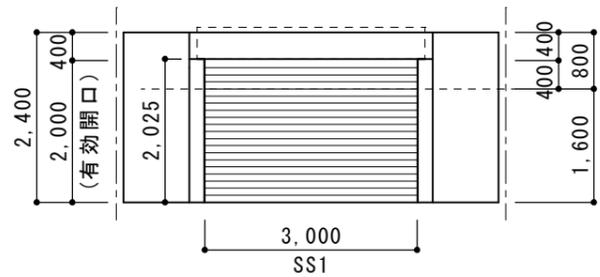
設計番号	設計年月日	国史跡二子塚古墳管理棟新築工事	D - 7
—	—		
BE CREATIVE OF SPACE		配置図	一級建築士 No.128866 松村和吉
建築 企画	株式会社 松村設計		
設計 監理	TEL072-952-0439 FAX072-952-0454		
		SCALE 1/150	



1階平面図



屋根伏図



排煙検計 : $3.00 \times 0.40 = 1.20$

道路斜線検計 (BMからの高さで検計) : $4.5m \times 1.25 = 5.625m$, $5.62m - 道路中心レベル0.07m = 5.55m > 建物最高高さ3.71m + 0.25m = 3.96m \rightarrow ok$

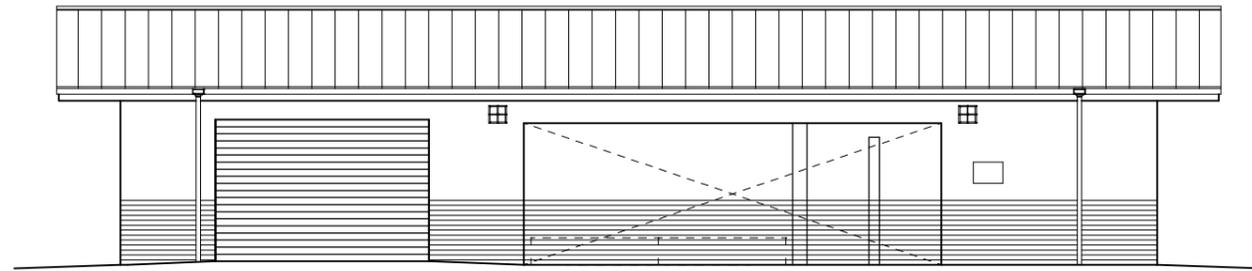
隣地斜線検計 : 立上がり20m > 建物最高高さ3.71m $\rightarrow ok$

日影規制検計 : 10m > 建物最高高さ3.71m \rightarrow 対象外

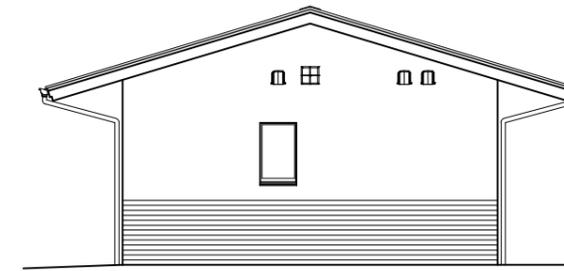
展示室のシックハウス検計 : 使用時に外気に開放される開口部の換気上有効な面積の合計 $6.00m^2 > 0.042075 = 28.05 \times 15 / 10,000 \rightarrow$ 適用除外
SS1

消防法の有窓無窓判定 : 無窓 消火器ABC10型 (凡例 : ●) 及び、誘導灯C級 (凡例 : ●) 設置

設計番号	設計年月日	国史跡二子塚古墳管理棟新築工事	D - 8
BE CREATIVE OF SPACE			
建築企画 設計監理	株式会社 松村設計	1階平面図・屋根伏図	SCALE 1/100
TEL072-952-0439 FAX072-952-0454			



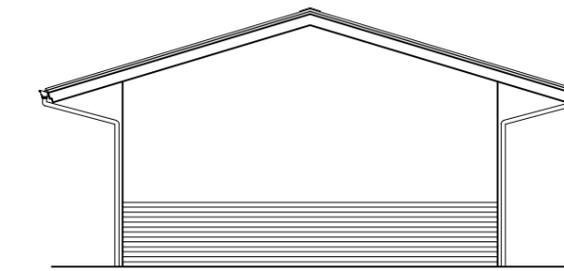
南立面図



東立面図



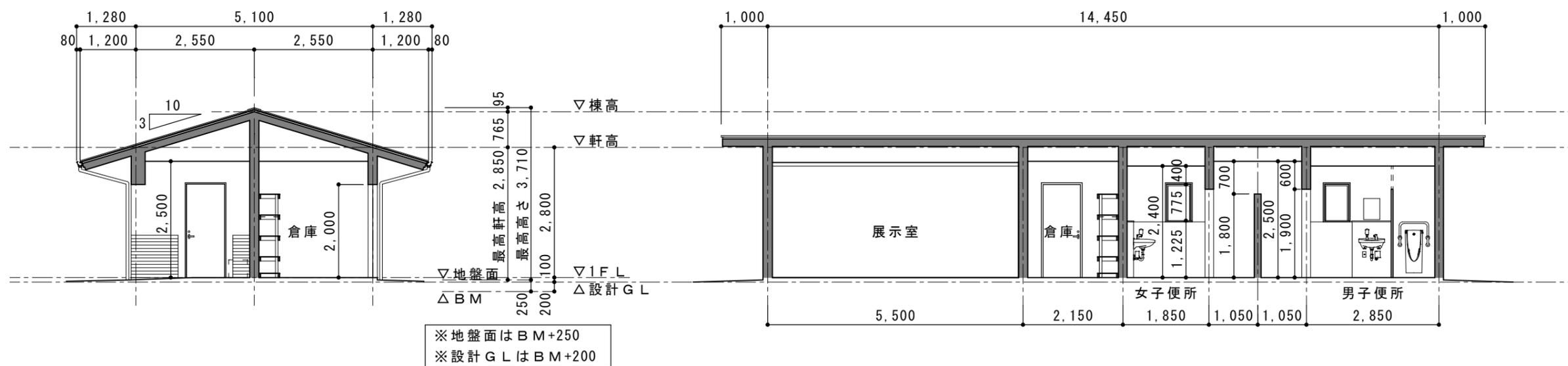
北立面図



西立面図

外部仕上	
屋根	ガルバリウム鋼板 厚0.5 瓦棒葺 (たてひら) NM-8697
外壁	コンクリート打放の上 下地薄塗モルタル 複層塗材Eローラー
腰	2丁掛けタイル圧着貼
軒裏	コンクリート打放の上 弾性リシン吹付

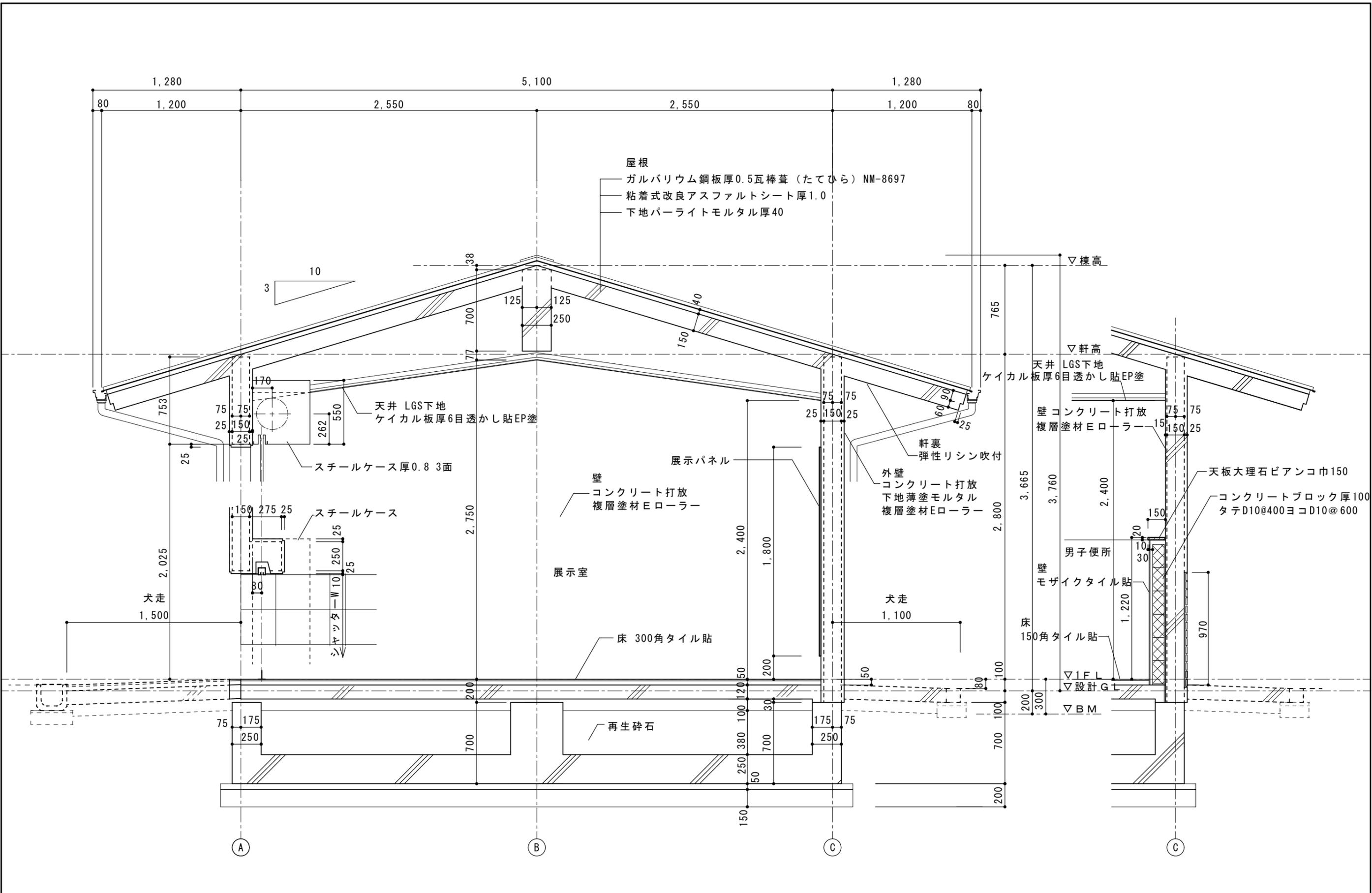
設計番号 —	設計年月日 —	国史跡二子塚古墳管理棟新築工事	D — 9
— BE CREATIVE OF SPACE —		立面図	SCALE 1/100
<small>建築 企画</small> <small>設計 監理</small> 株式会社 松村設計 TEL072-952-0439 FAX072-952-0454			



A - A 断面図

B - B 断面図

設計番号	設計年月日	国史跡二子塚古墳管理棟新築工事	D - 10
—	—		
BE CREATIVE OF SPACE		断面図	一級建築士 No.128866 松村和吉
株式会社 松村設計			
TEL072-952-0439 FAX072-952-0454			
		SCALE 1/100	



屋根
 ガルバリウム鋼板厚0.5瓦棒葺(たてひら) NM-8697
 粘着式改良アスファルトシート厚1.0
 下地パーライトモルタル厚40

天井 LGS下地
 ケイカル板厚6目透かし貼EP塗

スチールケース厚0.8 3面

スチールケース

壁
 コンクリート打放
 複層塗材Eローラー

展示室

床 300角タイル貼

再生碎石

軒裏
 弾性リシン吹付

外壁
 コンクリート打放
 下地薄塗モルタル
 複層塗材Eローラー

犬走
 1,100

天井 LGS下地
 ケイカル板厚6目透かし貼EP塗

壁
 コンクリート打放
 複層塗材Eローラー

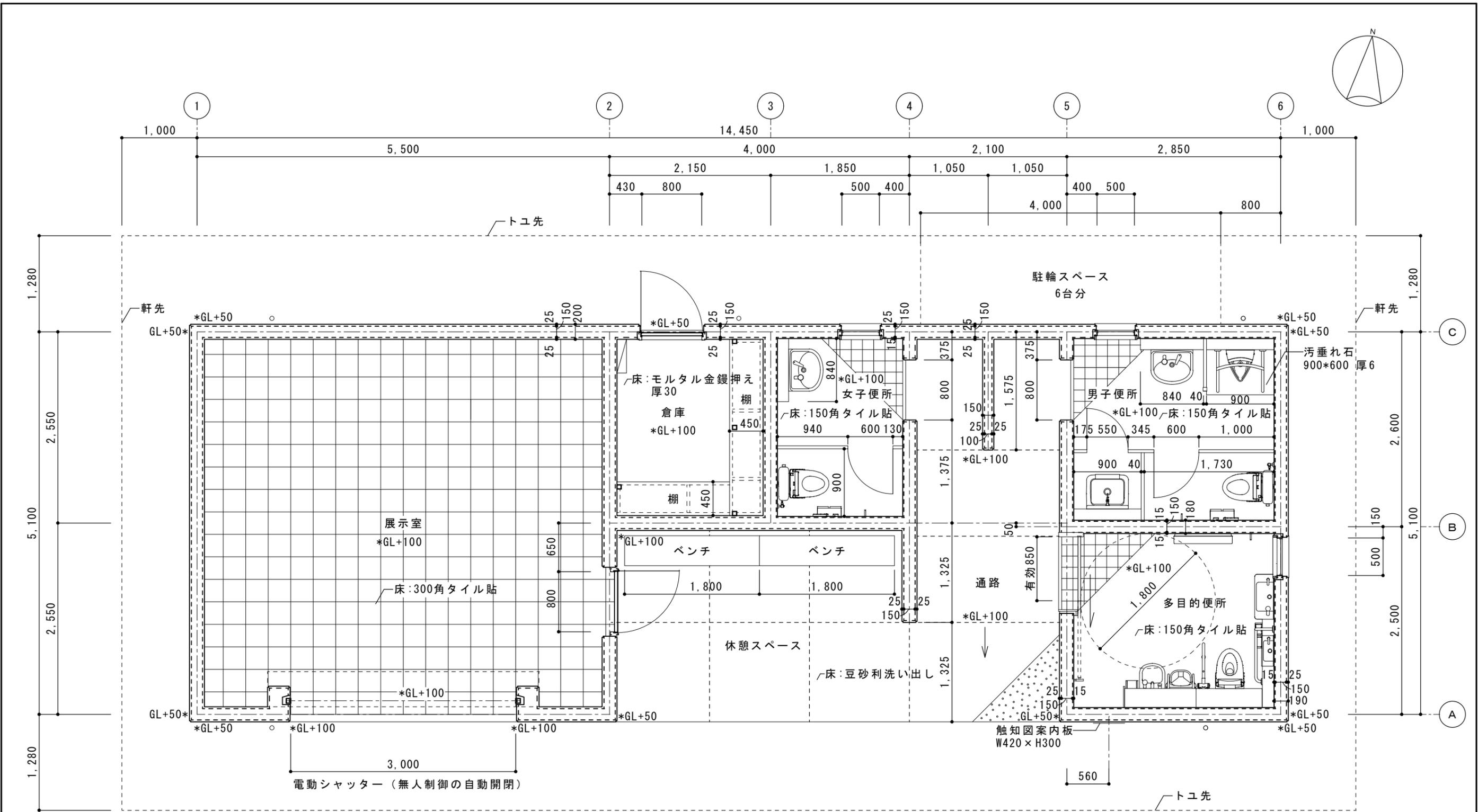
男子便所

壁
 モザイクタイル貼

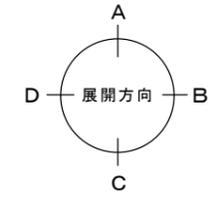
床
 150角タイル貼

天板大理石ピアンコ巾150
 コンクリートブロック厚100
 タテD10@400ヨコD10@600

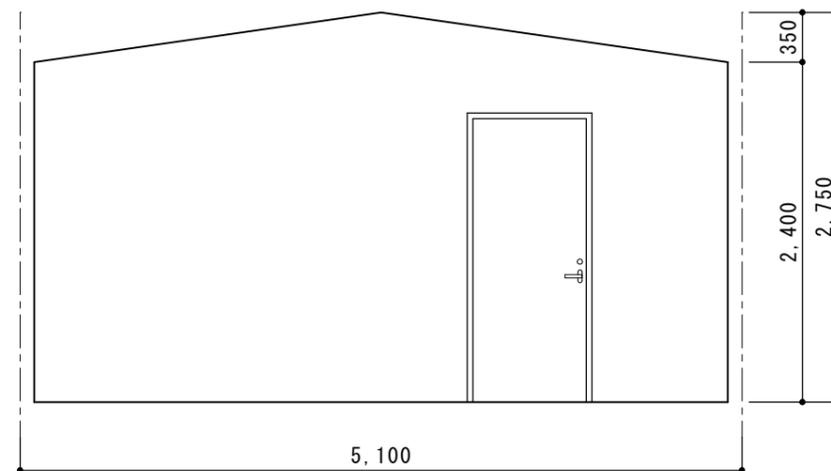
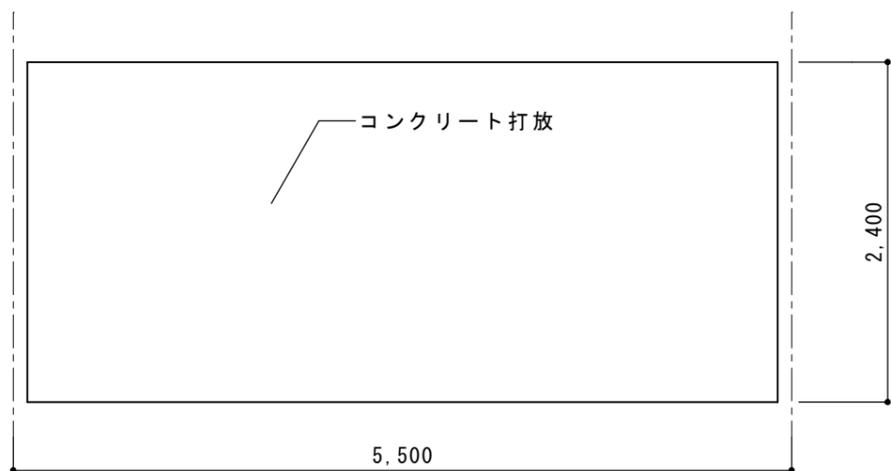
設計番号	設計年月日	国史跡二子塚古墳管理棟新築工事	D - 12
BE CREATIVE OF SPACE			
建築 企画	設計 監理	株式会社 松村設計	矩計図(2)
TEL072-952-0439 FAX072-952-0454		SCALE 1/30	



※GL = 設計GL



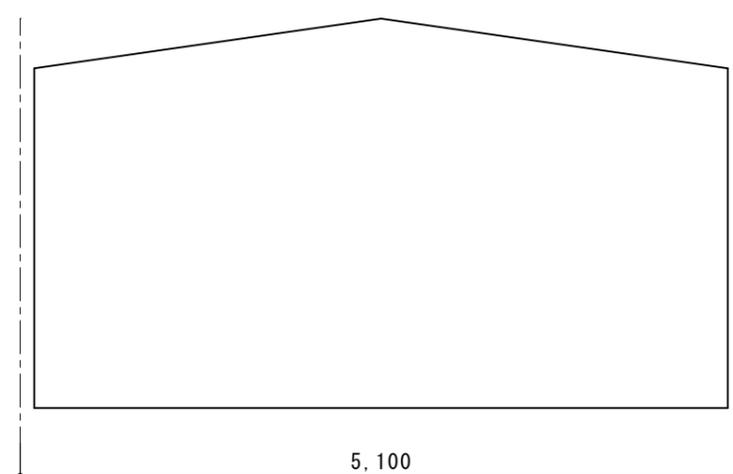
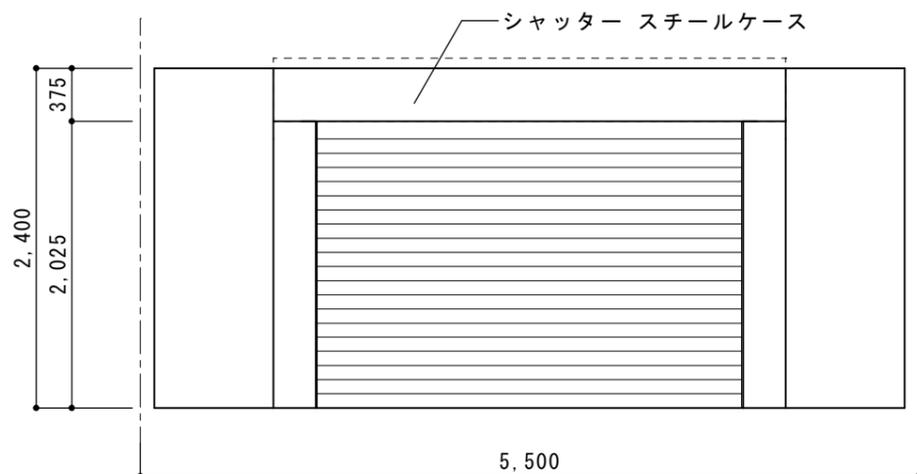
設計番号 設計年月日 BE CREATIVE OF SPACE 株式会社 松村設計 TEL072-952-0439 FAX072-952-0454	国史跡二子塚古墳管理棟新築工事	D - 13 一級建築士 No.128866 松村和吉
	1階平面詳細図 SCALE 1/50	



展示室

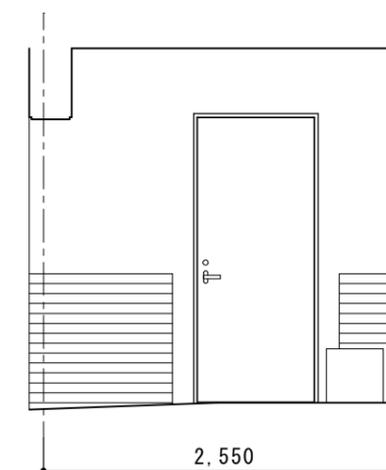
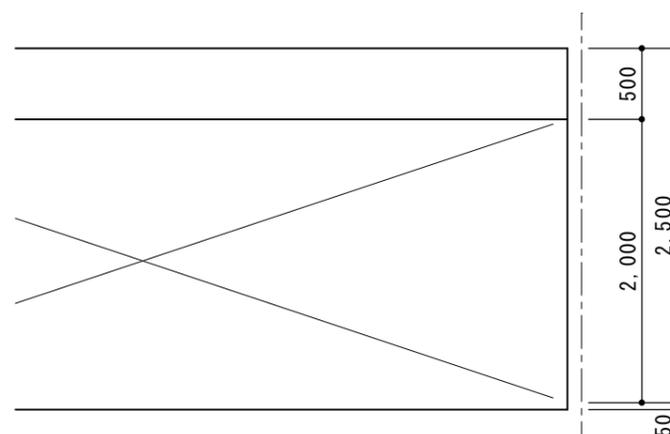
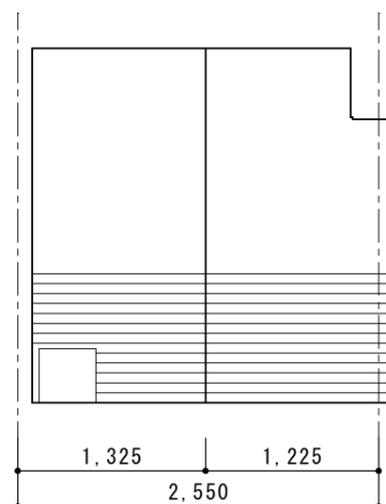
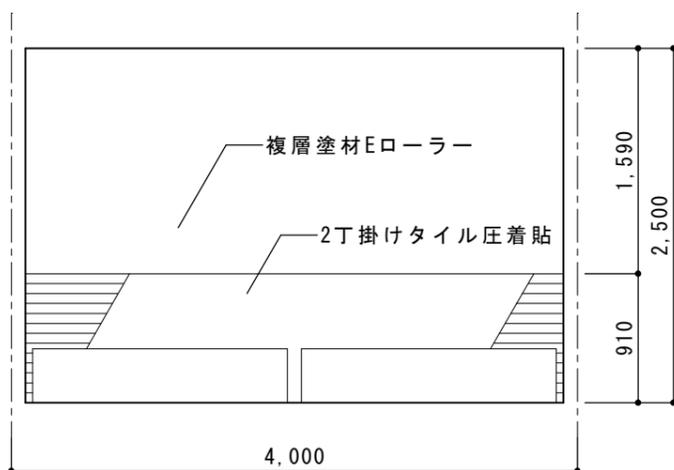
A

B



C

D



休憩スペース

A

B

C

D

設計番号

設計年月日

BE CREATIVE OF SPACE

株式会社 松村設計

TEL072-952-0439 FAX072-952-0454

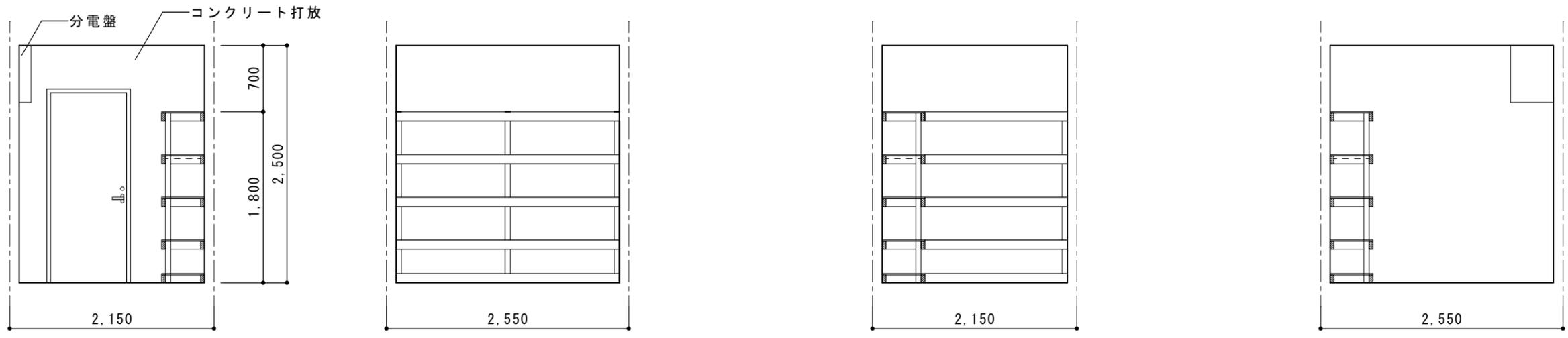
国史跡二子塚古墳管理棟新築工事

展開図 (1)

SCALE 1/50

D - 14

一級建築士 No.128866
松村和吉



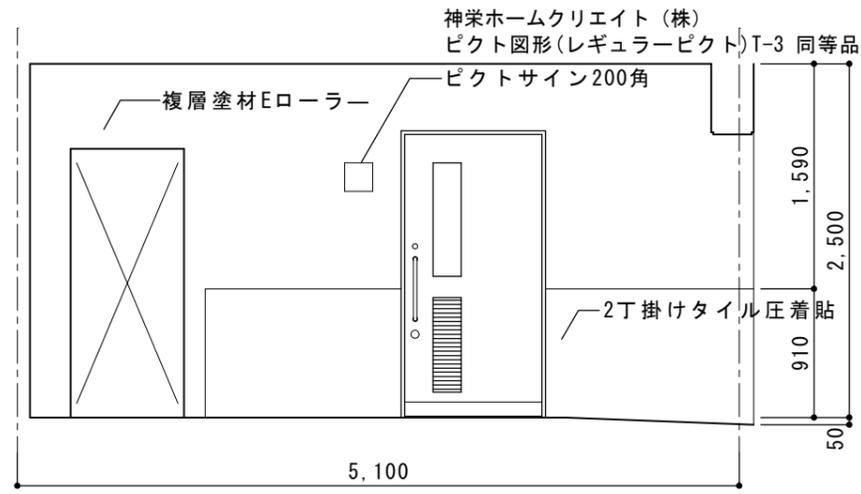
倉庫

A

B

C

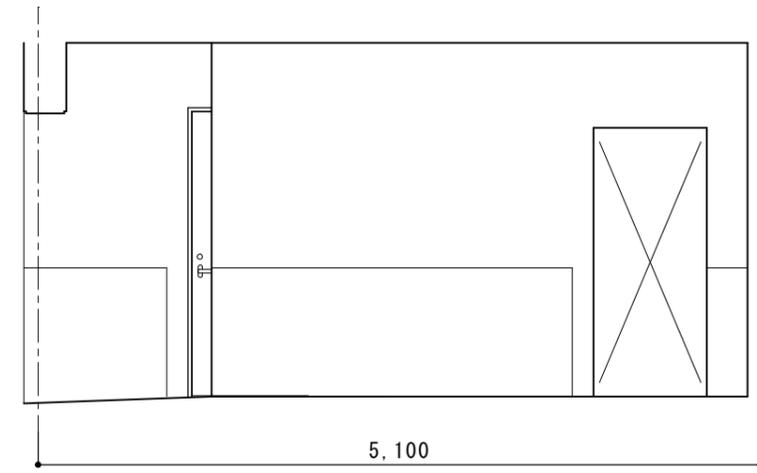
D

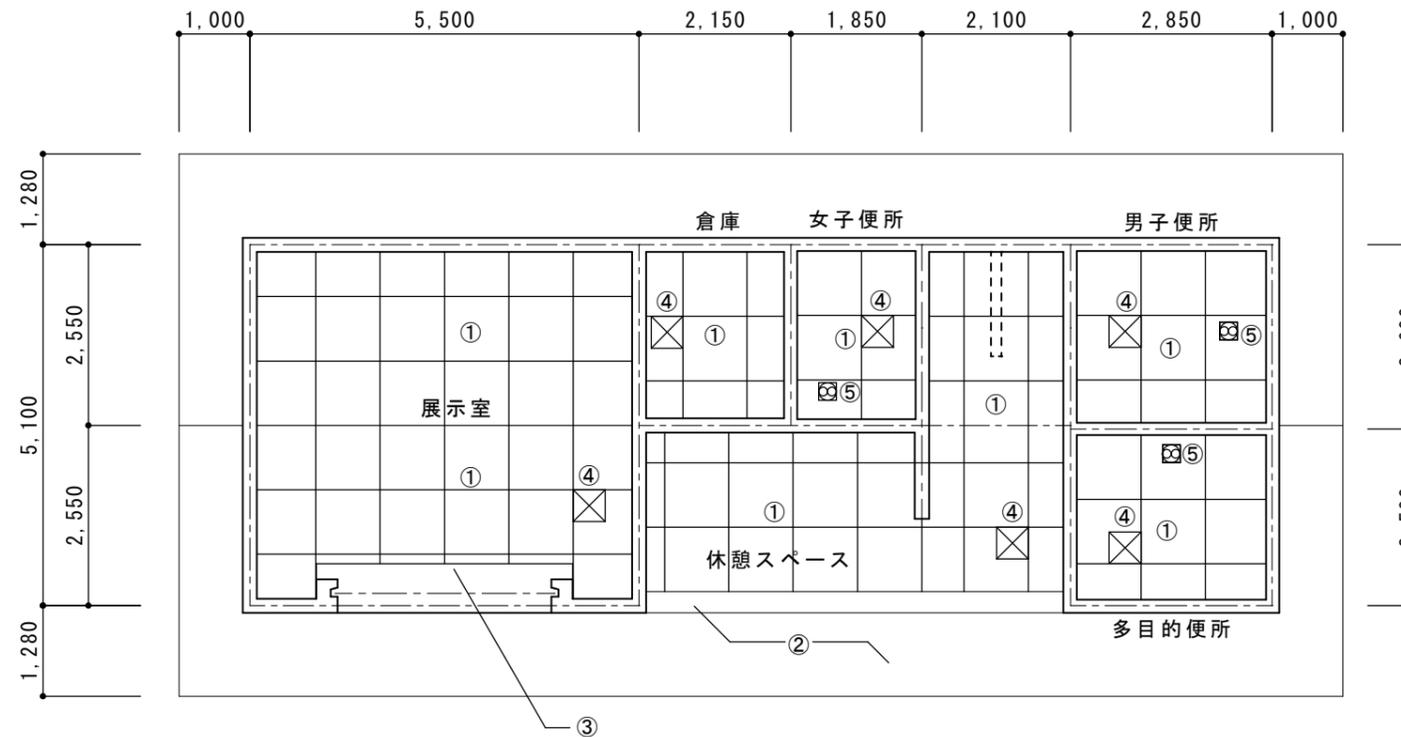
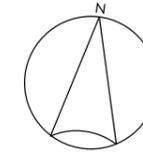


通路

B

D



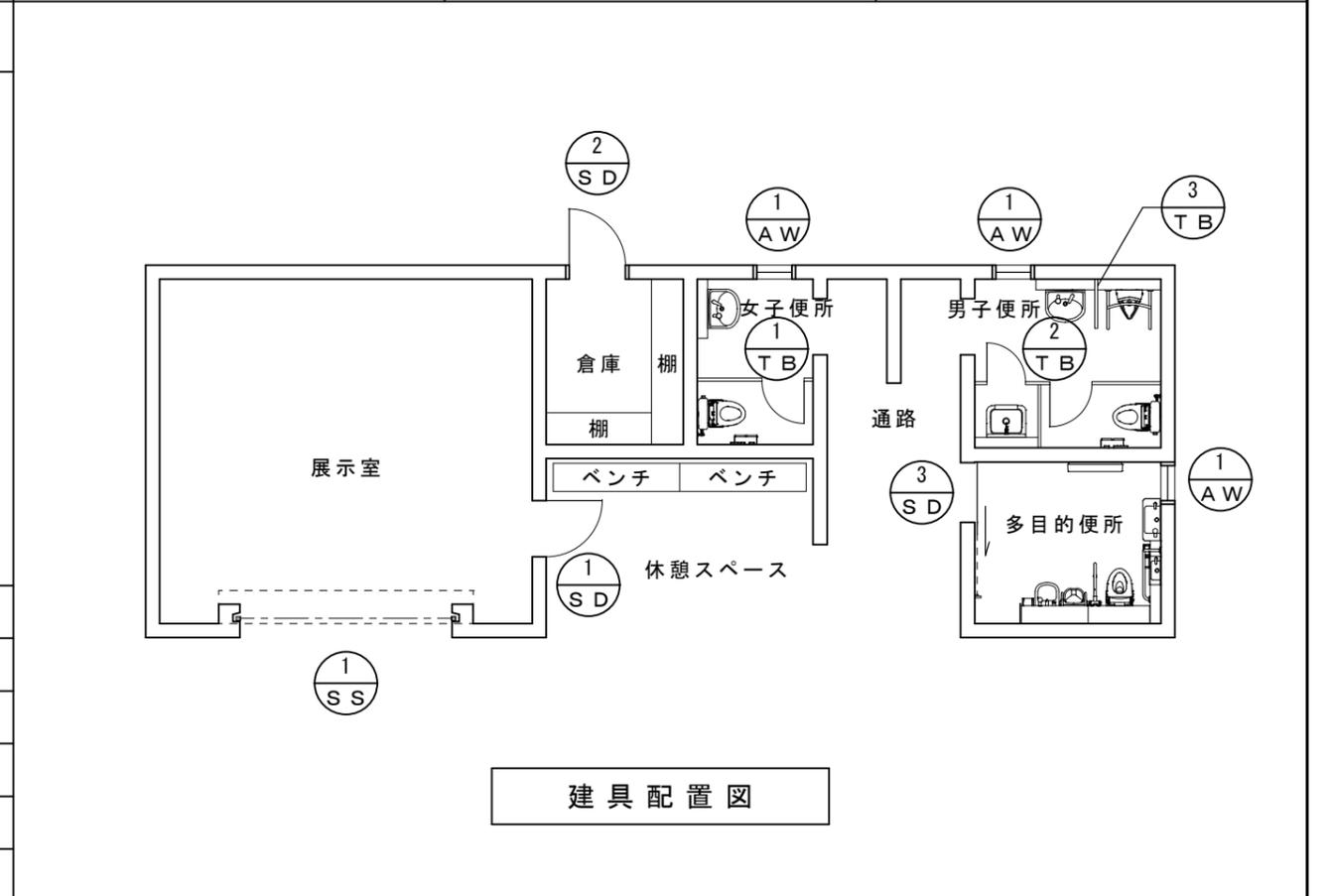


凡例

材料	廻り縁
① ケイカル板厚6目透かし貼EP塗	塩ビ製 D-6
② コンクリート打放の上 弾性リシン吹付	
③ シャッターボックス	
④ 天井アルミ点検口450*450	
⑤ 天井換気扇	

付号 数量	① S S × 1	① S D × 1	② S D × 1	③ S D × 1	① A W × 3
姿図					
室名	展示室	同左	倉庫	多目的便所	女子便所、男子便所、多目的便所
種類	軽量電動シャッター	片開きドア	同左	片引き戸ハンガードア 3方枠 下端キックプレートステンレス	FIX窓
材質	スチール	同左	同左	スチール（ペーパーコア）	アルミ
金物	付属金物一式、レール マグサ SUS	レバーハンドル、電気錠、 シリンダー錠、DC、沓摺 SUS	付属金物一式	同左	同左
仕上 見込	——	DP 86	同左	——	——
ガラス	——	——	——	網入り型板ガラス厚6.8	同左
備考	無人制御の自動開閉	フラット下枠		固定ガラリ（防虫網共）、引手 SUS HL、 ガラス止めシーリング材 SR-1	アルミ水切り付 巾140、 ガラス止めシーリング材 SR-1

付号 数量	① T B × 1	② T B × 1	③ T B × 1
姿図			
室名	女子便所	男子便所	同左
種類	トイレブース	同左	隔て板（サポートタイプ）
材質	高圧メラミン樹脂化粧板（ペーパーコア）	同左	同左
金物	付属金物一式、 笠木アルミシルバー 40*20	同左	付属金物一式、柱 SUS 50*50
仕上 見込	——	——	——
ガラス	——	——	——
備考			



構造特記仕様書 2022年度版

§1 一般事項

- 1-1 使用材料は原則としてJIS規格品、JAS規格品、又は大臣認定品とする。
1-2 設計図書の優先順位は下記による。
1) 本特記仕様書
2) 設計図
3) 標準図
4) 仕様書
5) 日本建築学会標準仕様書、JASS5、JASS6 (最新版とする)
1-3 各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、工事監理者の承諾を得る。
1-4 構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。
1-5 設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて工事監理者の承諾を得る。
1-6 梁貫通位置、径、及び箇所数は() ※意匠図 構造図 ※設備図)による。
1-7 その他

§2 構造計算ルート

Table with 2 columns: 方向, 構造計算ルート. Rows for X and Y directions, listing routes 1, 2, and 3.

- 2-1 鉄筋の継手(定着については設計図若しくは標準図による)
2-2 構造計算ルート別による主筋又は、耐力壁の鉄筋の継手の重ね長さ
※ 建築基準法施行令第73条第2項による仕様規定
◎ 日本建築学会 JASS5 (2018)、鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説
◎ 日本建築学会 RC規準2018
XY両方向共にルート3及び限界耐力計算の場合は、令第73条第2項の仕様規定によらずJASS5 (2018)、鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説及びRC規準2018とすることができる。

§3 仮設工事, 土工

- 3-1 山留め、根切り
3-2 埋戻し土、盛土、残土処分
埋戻し土 ※ 根切り土の中の良土
盛土 ※ 根切り土の中の良土
残土処分 ※ 場内地均し

§4 地業工事

Table for foundation and slab ground work. Columns: 場所, 捨てコンクリート厚さ, A: 砕石, B: 割栗石, 厚さ. Rows for 基礎, 基礎梁, 土間スラブ, 土間コンクリート.

注1). アンカーボルト支持用フレームの、あと施工アンカーを打込む部分は100以上とする。
注2). 端部aは100以上とする。

- 4-2 設計地耐力
長期 60 kN/m² 短期 120 kN/m² 終局 180 kN/m²
地耐力載荷試験 ◎ 行う (箇所, 長期設計耐力の3倍を確認する) ※ 行わない
4-3 地盤改良
無筋コンクリート地業
セメント系固化材攪拌
[載荷試験, 一軸圧縮試験]
[六価クロム溶出試験]

- 4-4 既製コンクリート杭、鋼管杭、その他特殊杭
1) 杭種
PHC杭
ST杭
SC杭
PRC杭
節杭
鋼管杭
2) 工法
打撃工法
埋込み工法

Table for pile design strength. Columns: 杭径(底部部)mm, 長期kN, 短期kN, 終局kN, 本数, 備考.

- 4) 杭の構成は設計図による。
5) 杭頭補強
かご筋
スタッド溶接
杭外周溶接
4-5 場所打鉄筋コンクリート杭, 場所打鋼管コンクリート杭
1) 工法
アースドリル工法
リバース工法
BH工法

Table for pile design strength (construction method). Columns: 杭径(底部部)mm, 管厚mm, 長期kN, 短期kN, 終局kN, 本数, 備考.

- 2) 杭径, 設計耐力, 本数表(杭底部は施工径を示す)
3) 杭先端深さ
4) 孔壁測定
5) 使用材料
コンクリートの仕様は設計図による。特記のない場合JASS5水中コンクリートによる。
鉄筋
鋼管(リブ付)

- 4-6 杭打地業共通事項
1) [試験杭, 試験掘]
2) 載荷試験
3) SL塗布

- §5 鉄筋工事
5-1 材種
5-2 ガス圧接部の検査(第三者機関による)外観検査全数(引張り試験の場合、施工者自主検査でもよい)
5-3 溶接, 機械式継手の検査は各々の認定方法による他、日本継手協会仕様書(2017年)及び下記を参照する。
5-4 梁貫通補強
5-5 その他

§5 鉄筋工事

Table for reinforcement materials. Columns: 種類, 径, 継手.

- 5-2 ガス圧接部の検査(第三者機関による)外観検査全数(引張り試験の場合、施工者自主検査でもよい)
5-3 溶接, 機械式継手の検査は各々の認定方法による他、日本継手協会仕様書(2017年)及び下記を参照する。
5-4 梁貫通補強
5-5 その他

- 5-3 溶接, 機械式継手の検査は各々の認定方法による他、日本継手協会仕様書(2017年)及び下記を参照する。
5-4 梁貫通補強
5-5 その他

- 5-4 梁貫通補強
5-5 その他

- 5-5 その他
基礎梁, 基礎小梁の継手及び定着は原則として
梁の余長Lの採用
鉄筋の組立は適切な位置にスペーサーを使用し、組立後は形状保持のための養生を行う。
コンクリートを2回打する部材は、初回の打設後に鉄筋の清掃を行う。
コンクリート打設前に工事監理者の検査を受け不備な箇所は修正を行う。

§6 コンクリート工事

- 6-1 レディーミクストコンクリート(JIS A5308-2019)
1) セメント
2) 粗骨材
3) 設計基準強度
◎ 普通コンクリート
◎ 軽量コンクリート
◎ 高強度コンクリート

- 4) 土間コンクリート
5) 捨てコンクリート
6) 防水押さえコンクリート
7) かさ上げコンクリート
6-2 混和材
6-3 箇所
6-4 試験(躯体コンクリートの28日圧縮試験は公的機関において行う)

Table for concrete mix and testing. Columns: 箇所, 基礎, 基礎梁, 一般, 備考.

- 6-4 試験(躯体コンクリートの28日圧縮試験は公的機関において行う)
1) 骨材
2) フレッシュコンクリート
3) 躯体のせき板取り外し時期決定圧縮試験
4) コンクリートコア抜き取り圧縮試験
5) マスコンクリートのひび割れ照査(温度応力解析)
6) 単位水量測定

- 6-5 調査(補正値は工事費を含む)
計画供用期間の級()は耐久設計基準強度Fd
◎ 短期(18)
◎ 標準(24)
◎ 長期(30)
◎ 超長期(36)

Table for concrete strength and curing. Columns: 基礎, 梁, 柱, 壁, スラブ下, 梁下.

- 6-7 住宅性能表示
6-8 コンクリート圧縮強度試験はJIS A 1108による
コンクリート供試体の養生方法は現場水中養生とする
コンクリート打ち込み中及び打ち込み後5日間は、コンクリートの温度が2度を下らないようにすること

§7 鉄骨工事

Table for steel work materials and usage. Columns: 規格名称, 鋼材名, 柱, 通しダイア, 大梁, グレス, 小梁, 間柱.

Table for high strength bolts. Columns: 高力ボルトの種類, 使用箇所.

- 7-3 高力ボルト
7-4 高力ボルト
7-5 溶接材料
7-6 高力ボルト
7-7 高力ボルト

Table for high strength bolts. Columns: 径, 長さ(mm), 使用箇所.

- 7-8 溶接手法及び管理
1) 使用する溶接ワイヤー、入熱量及びバス間温度等の仕様については鉄建協又は全構協の仕様で、専任の溶接施工管理技術者により管理を行うこと。
2) 完全溶け込み溶接はAW検定の有資格者が行うとする指定を
3) 本工事で代替タブを使用する場合は、代替タブ溶接技術者技量検定付加試験を

- 7-9 デッキプレート (単位 mm)
1) 床用
2) 合成スラブ用
3) 型枠用
4) 防錆処理

Table for deck plate and coating. Columns: 適用, 塗料, 種別, 標準膜厚.

- 7-10 塗装(工場塗 ※ 2回
1) 素地調整
2) 下塗り用塗料

- 7-11 溶接部の検査(受入検査)
1) 受入検査を行う第三者検査機関は、建築主、設計者、工事監理者又は工事施工者(元請)との直接契約による。
2) 第三者検査機関は(社)日本溶接協会によるO10検査事業者認定種別における超音波探傷検査部門の認定を取得した事業者とし、当該工場の鉄骨製作場の社内検査を行っている事業者とする。
3) 受入検査は目視による外観検査と超音波探傷検査とし、社内検査完了後に行う。
4) 外観検査の合格判定は国土交通省告示164号による。ただし告示に定めのないものは日本建築学会「JASS6 鉄骨工事 2018 付録6 鉄骨精度検査基準」の限界許容差による。
5) 超音波探傷検査は日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査標準・同解説」2018により、合格判定は2.1度劣を考慮しない溶接部のうち、引張応力が作用する溶接部の項を適用する。
6) 溶接箇所数の数え方は「JASS6 鉄骨工事 2018」表10.1溶接箇所数の数え方による。
7) 受入検査の抜き取り方法及び抜き取り率は以下による。

- a) 工場溶接の場合
i. 検査ロットは各所、各工区毎に溶接箇所300箇所以内で構成する。
ii. 抜き取り数は各ロット毎に30箇所をランダムにサンプリングする。
iii. 大きさ30mmのサンプル中の不適合個数が1個以下のときはロットを合格とし、4個以上のときはロットを不合格とする。ただし、サンプル中の不適合数が1個を超え4個未満のときは、同じロットからさらに30個のサンプルを抜き検査する。総計60個のサンプルについての不適合個数の合計が4個以下のときはロットを合格とし、5個以上のときはロットを不合格とする。
b) 現場溶接の場合
全数検査とする。
8) 検査により不合格と判定された溶接部はすべて補修を行い、再検査して合格とならなければならない。
9) ずれ、食い違いの補修方法は、独立行政法人 建築研究所監修「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補修マニュアル」による。

- 7-12 鉄骨製作工場 下記○印のグレード認定工場内、納期・製作能力・鉄骨数量を勘案して工場選択のこと
国土交通省大臣認定(グレード)

§8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板・PCa板工事

- 8-1 コンクリートブロック
1) 種類
2) 厚さmm
8-2 ALC パネル
1) 使用箇所
2) 厚さmm
3) 外壁取り付け構法

Table for ALC panel construction methods. Columns: 方向, 構法, 使用箇所, 備考.

- 8-3 押出成形セメント板
外壁取付構法及び厚さmm
方向
構法
使用箇所
備考

- 8-4 PCa板
1) 床及び屋根
PCa板単独 厚さmm
合成板
2) 外壁 厚さmm

Table for PCa board construction methods. Columns: PCa板厚さmm, 現場打厚さmm, 合計厚さmm, 備考.

1級建築士 大臣登録 128866
松村 和吉

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1) 2022年度版

1-1 基本事項

§ 1 一般事項

1. 使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
2. 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。また本標準図に明記なき場合は構造特記仕様書1-2-4に指定した共通仕様書及び日本建築学会「JASS5(2018)」及び「鉄筋コンクリート造筋指針・同解説(2021)」による。
3. 本標準図は異形鉄筋を対象とし、dは呼び名に用いた数値とする。
4. 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

1-2 その他

§ 2 共通事項

鉄筋の表示記号及び最外径は下表による。

記号	×	◇	●	○	⊗	⊙	⊕	⊖			
呼び径 d	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
最外径 D	11	14	18	22	26	29	33	37	40	43	47

- フックのない場合
- フックのある場合
- 本数に差がある場合
- 機械式継手表示
- ガス圧接、溶接継手表示

2-2 鉄筋の折り曲げ

柱・梁・基礎の主筋、及び、その他の鉄筋の折曲げ形状・寸法

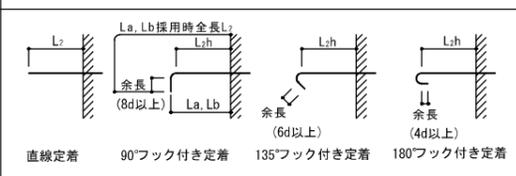
折曲げ角度	図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法直径(D)
180°		柱・梁主筋	SD295	D16以下	3d以上
		基礎主筋	SD345	D19~D41	4d以上
135°		あばら筋	SD390	D41以下	5d以上
		スパイラル筋			
		スラブ筋			
		壁筋	SD490	D25以下	5d以上
90°				D29~D41	6d以上

2-3 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

「JASS5(2018)」に準拠

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度(N/mm ²)	重ね継手の長さ		定着の長さ	
		上段重ね L ₁ 下段重ね L ₂	上段重ね L ₁ 下段重ね L ₂	一般 上端筋 L ₂ 下端筋 L ₁	小梁・床スラブ 上端筋 L ₂ 下端筋 L ₁
SD295 SD345 ([○])はSD345を示す	18	45d(50d)	40d	15d (20d)	L ₁ =20d L ₂ =10d
		35d	30d, 20d		
	21	40d(45d)	35d	15d	
		30d	25d, 15(20)d		
	24~27	35d(40d)	30d(35d)	15d	
		25d(30d)	20d(25d), 15(20)d		
30~36	35d	30d	15d		
	25d	20d, 15d			
39~45	30d(35d)	25d(30d)	15d		
	20d(25d)	15d(20d), 15d			
48~60	30d	25d	150以上		
	20d	15d, 15d			
SD390 (SD490) ([○])は適用外	21	50d(-)	40d(-)	20d (-)	SD490は適用外
		35d(-)	30d(-), 20d(-)		
	24~27	45d(55d)	40d(45d)	15d	
		35d(45d)	30d(35d), 20(25)d		
	30~36	40d(50d)	35d(40d)	15d	
		30d(35d)	25d(30d), 20(25)d		
39~45	40d(45d)	35d(40d)	15d		
	30d(35d)	25d(30d), 15(20)d			
48~60	35d(40d)	30d(35d)	15d		
	25d(30d)	20d(25d), 15(20)d			

一般定着の直線L₂またはフック付きのL₁、L₂、L₃の図

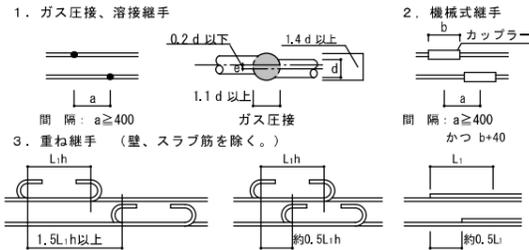


1. 重ね継手の長さは鉄筋の折曲げ起点間の距離、又、フック付きのL₁は仕口面から鉄筋の折曲げ起点までとし、末端のフックは定着長さに含まない。
2. 軽量コンクリートを使用する場合は、2-3の数値に5dを加算する。

2-4 継手一般

3. 構造特記仕様書2-2で令第73条を選択した場合、主筋又は耐力壁の鉄筋の継手重ね長さは左下表L1かつ40d(軽量コンクリートを使用する場合は50d)とする。
4. 構造特記仕様書2-2でJASS5(2018)、RC標準2018とした場合、主筋又は、耐力壁の鉄筋の継手重ね長さは設計図によるが、参考値として左下表JASS5(2018)にL₁を示す。

ガス圧接継手・溶接継手・機械式継手に関する事項は、標準仕様書および施工要領ならびに鉄筋継手工事特記仕様書(2019年版)共に公益社団法人日本鉄筋継手協会編に準拠。



4. D35以上の鉄筋は原則として重ね継手は用いない。(ガス圧接、溶接、機械式継手等による)
5. 溶接継手及び機械式継手の場合はメーカー仕様による。

2-5 鉄筋のフック

- 下記の1.~7.に示す鉄筋の末端部にはフックをつける。
- 1. あばら筋及び帯筋
- 2. 煙突の鉄筋
- 3. 柱及び梁(基礎梁を除く)の出隅部分の鉄筋(下図参照)



上図の○印の鉄筋の末端にはフックが必要。

4. 片持ちスラブの上端筋の先端
5. 最上階及びこれに準ずる箇所の柱頭の四隅の鉄筋
6. 杭基礎の基礎柱(偏心基礎及び杭2本打以上の場合)
7. 鉄骨柱の脚部の基礎柱、又は根巻コンクリートの四隅の鉄筋

2-6 鉄筋のあき

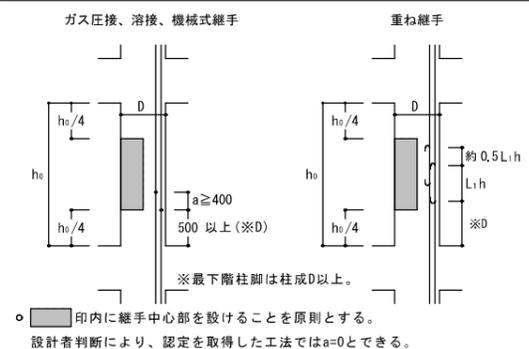
- 鉄筋のあきaは原則として下記による。呼び名の数値dの1.5倍以上
- 鉄筋径が異なる場合は大きい方による。
- 二段筋のあきは1.5dとする。

2-7 かぶり厚さ

部位	かぶり厚さ	
	仕上げあり	仕上げなし
土に接しない部分	屋根スラブ	30(20)
	床スラブ	30(20)
	屋外耐力壁	40(30)
	柱・梁	40(30)
土に接する部分	耐力壁	50(40)
	柱・梁・床スラブ・壁・布基礎の立上り	50(40)
基礎・擁壁	70(60)	

1. () 内の数値は最小かぶり厚さを示す。
2. 仕上げありとは、鉄筋の耐久性上有効な仕上げのある場合とする。
3. ※1 品質・施工法に応じ、工事監理者の承認で10減の値とすることができる。
4. ※2 軽量コンクリートの場合は、これに10加算する。
5. 柱・梁の主筋の最小かぶり厚さは、表の数値以上かつ主筋径の1.5倍以上とする。

§ 3 柱



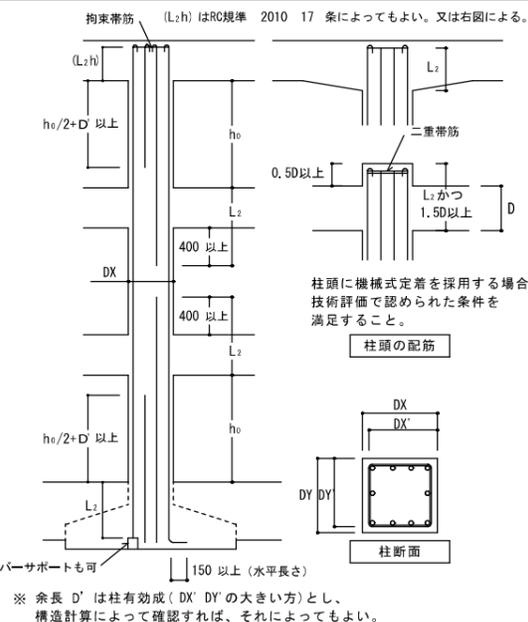
3-1 主筋の継手

3-2 主筋の定着

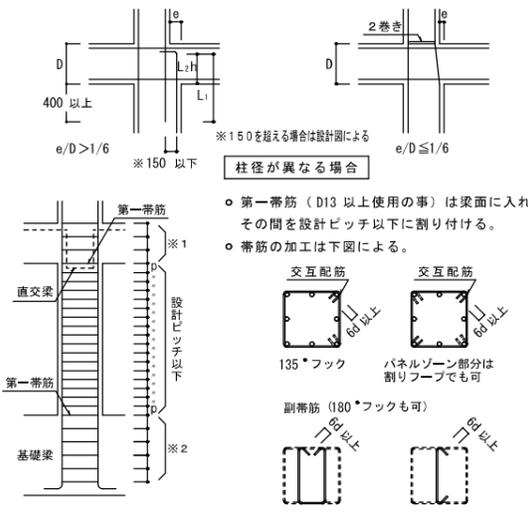
3-3 帯筋副帯筋

3-4 補助筋

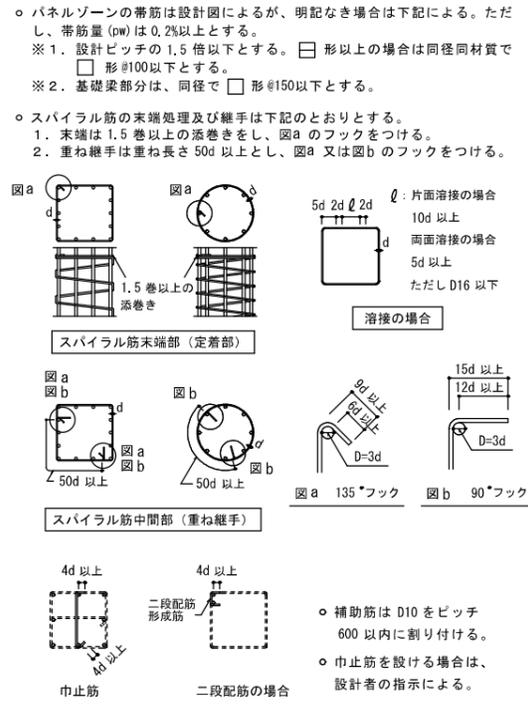
3-2 主筋の定着



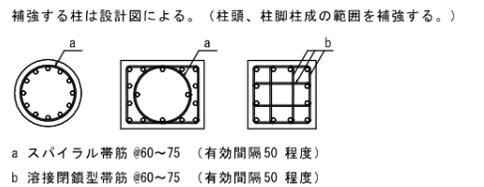
3-3 帯筋副帯筋



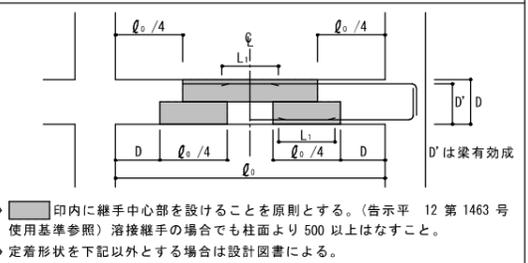
3-4 補助筋



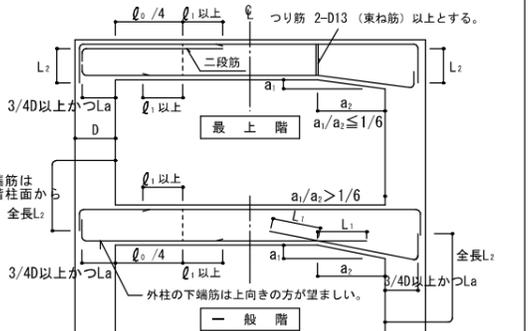
3-5 柱のコンファインド補強



4-1 主筋の継手



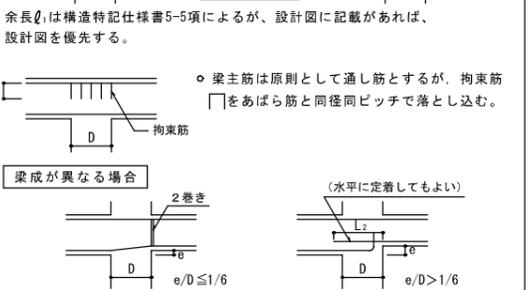
4-2 主筋の定着及び余長



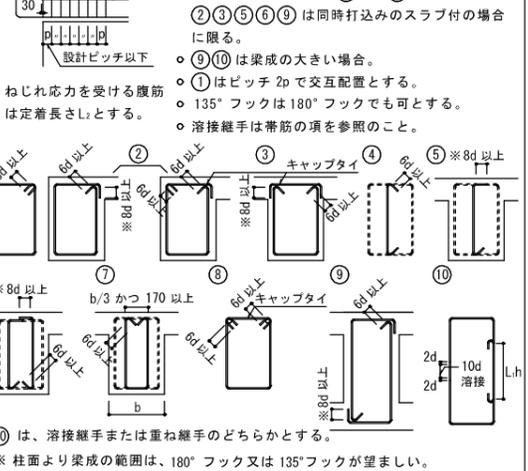
外柱

中柱

4-3 あばら筋副あばら筋



4-3 あばら筋副あばら筋



一級建築士No.128866 松村 和吉

国史跡二子塚古墳管理棟新築工事

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

S-2

鉄筋コンクリート壁式構造配筋標準図 2022年度版

1-1 基本事項
1-2 その他

§ 1 一般事項

- 1) 本標準図に記載なき事項は、鉄筋コンクリート構造配筋標準図による。
- 2) 耐久性上有効な仕上げのない壁（屋内、屋外共）及び土に接する壁は10以上増打ちする。
- 3) 特記なき限り粗骨材は最大径20^{mm}とする。

2-1 標準配筋リスト

§ 2 壁の標準配筋

符号	厚さ	縦筋、横筋	開口補強筋	
			縦筋	斜め筋
W12	120	D10-@200(S)	1-D13	1-D10(1-D10)
W15	150	D10-@200(S)	Ⓐ 2-D13(1-D13)	1-D13(1-D10)
W A		D10-@200(D)	2-D13(2-D13)	2-D13(1-D13)
W B		D10-@200(D)	2-D16(2-D13)	2-D13(1-D13)
W C		D10-@200(D)	Ⓑ 2-D19(2-D16)	2-D16(1-D16)

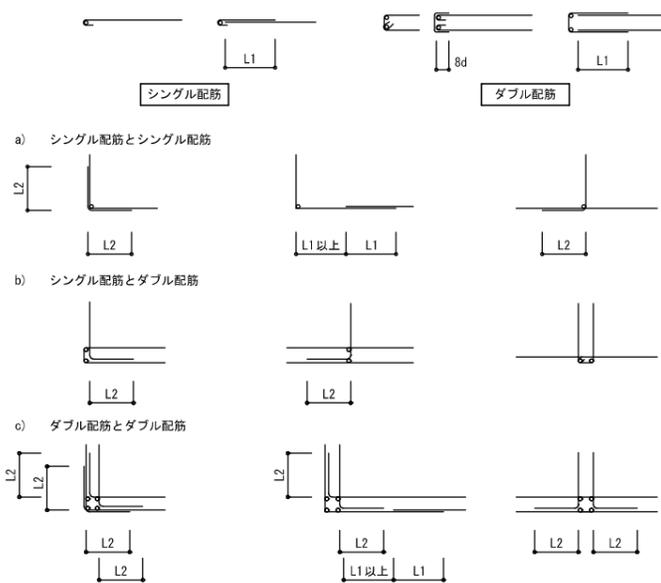
- 1) 特記なき配筋は上表によるが、壁の厚さは§6によるか、梁形を設ける事が望ましい。
- 2) ()内は開口部の高さ h が $h \leq 1000$ の場合を示す。
- 3) (S)はシングル配筋、(D)はダブル配筋を示す。
- 4) ダブル配筋の中止筋は、D10-@1000以内を標準とする。
- 5) 開口部補強の横筋（壁梁主筋）は設計図によるが、特記のない場合は縦筋に準じ、あばら筋は壁筋と同じとする。
- 6) 壁符号は設計図に記載なき場合は下表による。
- 7) 地下室のある場合は設計図による。
- 8) Ⓐ 2-D13の代わりに1-D19とすることができる。
- 9) Ⓑ 2-D19の代わりに2-D16+2-D13とすることができる。
- 9) 斜め筋の配筋が困難な場合は、縦筋横筋に置き換えてもよい。

階数	W15 (W A)	W A	W B	W C
5階	W15 (W A)			
4階	W A	W15 (W A)		
3階	W B	W A	W15 (W A)	
2階	同上	W B	W A	W12 (W A)
1階	W C	同上	W B	同上

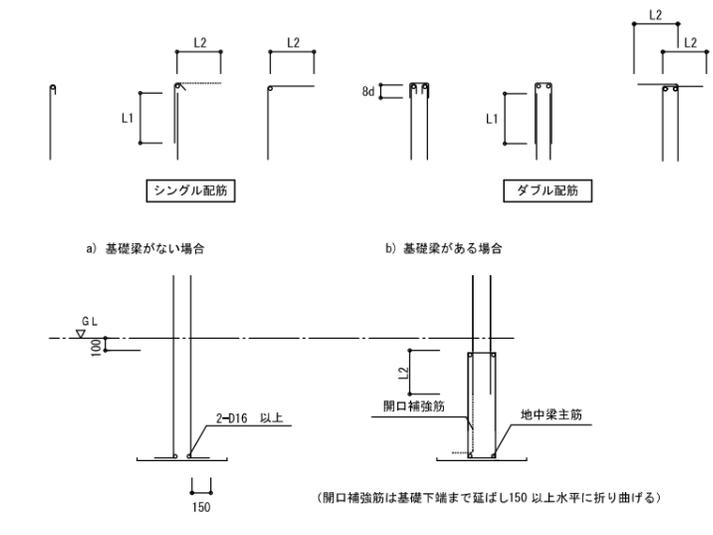
3-1 端部の配筋
3-2 壁に対する定着

§ 3 壁筋の定着

$l \leq 1500$ の壁は柱の帯筋に準じて配筋する。

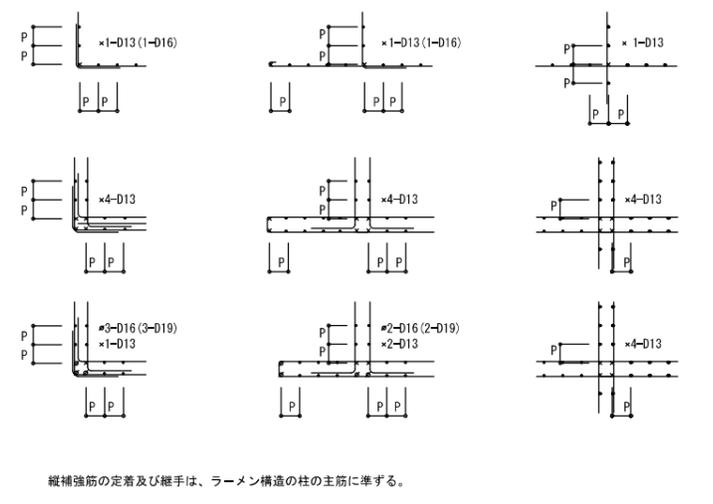


3-3 頂部の定着
3-4 基礎に対する定着



2-2 標準壁配置

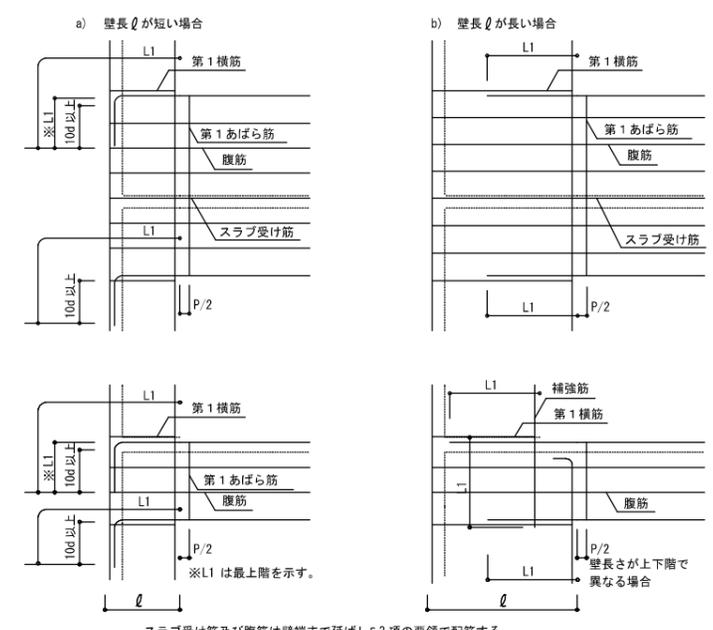
§ 4 壁交差部の縦補強筋と縦筋のピッチ (P)



4-1 W12 (W15)
4-2 W A
4-3 W B (W C)
4-4 継手、定着

縦補強筋の定着及び継手は、ラーメン構造の柱の主筋に準ずる。

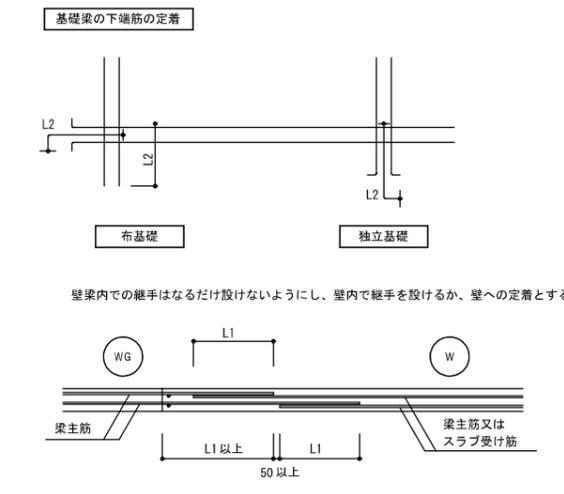
§ 5 壁梁の配筋



5-1 定着

スラブ受け筋及び腹筋は壁端まで延ばし§3項の要領で配筋する。

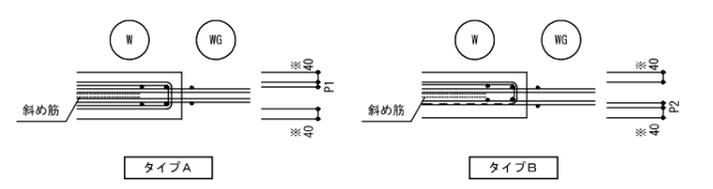
5-2 継手
5-3 その他



- 1) 隣接の梁と同レベルの場合は通し配筋とするが、壁長が非常に大きい場合の定着はL1のみとしてもよいが主筋がスラブレベルと同じ場合は5-2スラブ受け筋との継手とする。
- 2) スラブ受け筋は、ダブル配筋の場合は2-D13、シングル配筋の場合は1-D13とし壁筋の要領で定着する。又壁梁のない場合も配筋する。
- 3) 腹筋は壁の横筋と同径、同ピッチとする。

6-1 配筋タイプ

§ 6 壁厚及び壁梁の配筋詳細



6-2 タイプ別壁厚表

壁曲げ補強筋		配筋タイプ別による壁厚表 (mm)						
		タイプA			タイプB			
斜め筋	梁主筋	D13	D16	D19	D13	D16	D19	
D13	D10	190	195	205	185	190	195	
D16	D13	195	205	215	190	200	205	
D19	D16	200	210	220	200	210	210	

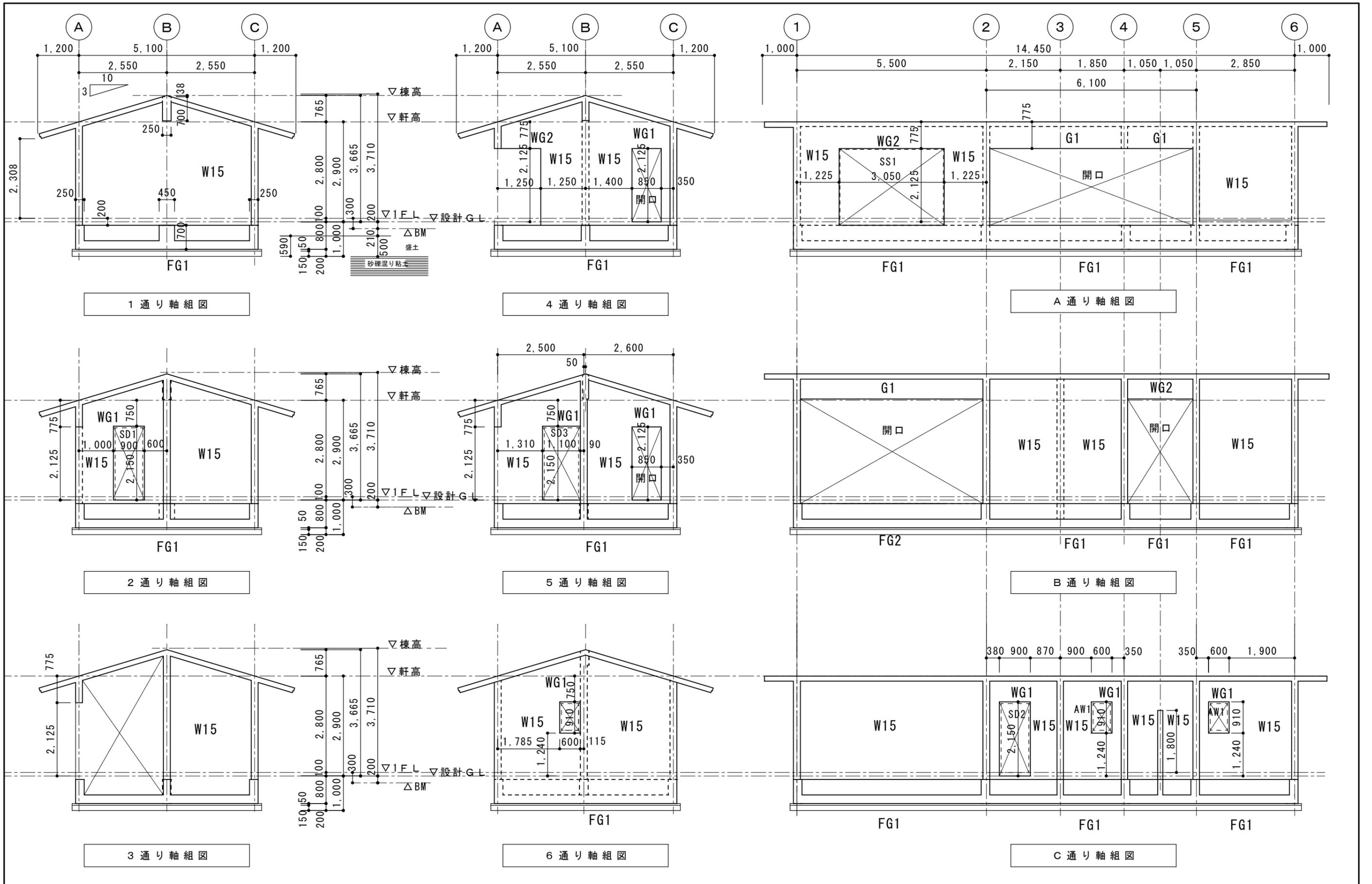
- 1) かぶり厚さを40^{mm}とした場合をしめす
※ 最小かぶり厚さを30^{mm}とした場合、壁厚は上表より-20^{mm}とする。
- 2) 主筋のあきは1.5dかつ25^{mm}以上とし、斜め筋が配筋できる寸法とする。
- 3) 主筋と帯筋及びあばら筋の寸法関係は下表による。

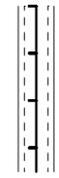
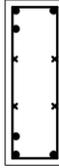
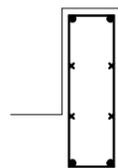
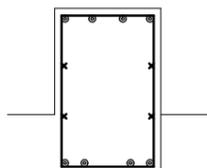
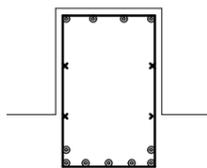
壁縦補強筋	壁梁主筋	
	D1	P1
D10	D13	20
	D16	22
	D19	23

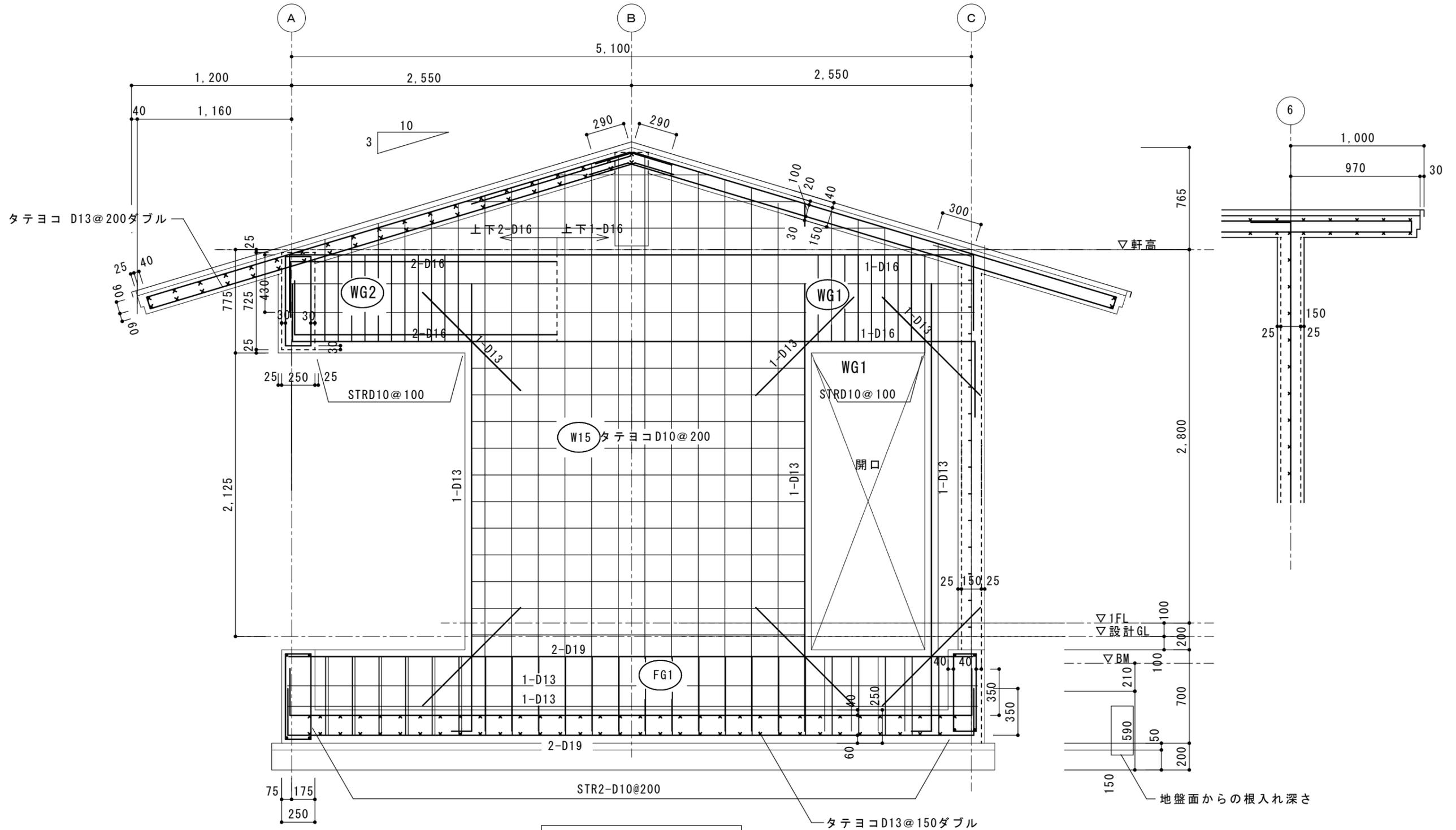
一級建築士N0128866
松村 和吉

国史跡二子塚古墳管理棟新築工事

鉄筋コンクリート壁式構造配筋標準図



梁リスト					壁リスト				
階	符号	WG1	WG2	G1	符号	W100	W150		
R階壁梁	B×D	150×700	150×700	250×700	断面				
	上下	1-D16	2-D16	3-D19					
	断面								
	STR	1-D10@100	1-D10@100	2-D10@200					
	腹筋	2-D13	同左	同左					
地中梁リスト					床版リスト				
		FG1	FG2		符号	厚さ	位置	短辺	長辺
	B×D	250×700	450×700						
	位置	全断面	外端・中央	内端					
	上端筋	2-D19	4-D22	4-D22					
	下端筋	同上	同上	7-D22					
	断面								
	STR	2-D10@200	2-D13@150	2-D13@150					
腹筋	4-D13	同左	同左						
床版リスト					S1、CS1	厚150	上端筋	D13@200	同左
符号	スラブ厚	位置	配筋	下端筋			D13@200	同左	
FS1	250	タテヨコ	D13@150ダブル						
					設計番号	設計年月日	国史跡二子塚古墳管理棟新築工事		
					— BE CREATIVE OF SPACE —		S — 7		
					建築 企画	設計 監理	株式会社 松村設計		
					TEL072-952-0439 FAX072-952-0454		一級建築士 No.128866 松村和吉		
					壁・梁・床版リスト			SCALE 1/30	



④通り架構図 1/30

設計番号	設計年月日	国史跡二子塚古墳管理棟新築工事	S - 8
BE CREATIVE OF SPACE			
建築企画 設計監理	株式会社 松村設計	④通り架構図	SCALE 1/30
TEL072-952-0439 FAX072-952-0454			

電力会社より
1Φ3W 105/210V

EM-CE-T14sq

Wh

MCB 3P
50AF/50AT



ED : IE-5.5sq

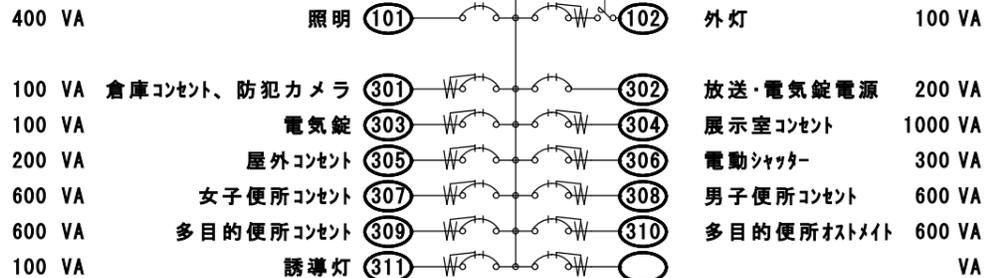
引込開閉器盤 (屋外防雨型)

倉庫内電灯盤 (壁掛型)

EM-CE-T14sq ED5.5sq (FEP-30)

ELB 3P
50AF/50AT
4.8kVA

Mg20A (自動-手動切替・自動点滅器+タイマ-消灯回路)

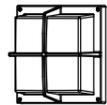


照明器具 (A)



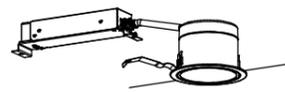
LED防犯灯 蛍光灯FL20形相当
光束730lm、消費電力6.3W、電圧100V
昼白色、5500K、Ra80、光束維持時間6万時間
本体：ASA樹脂(クールホワイト)
前面パネル：アクリル
防雨型、明るさセンサ内蔵、優良防犯機器RBSS認定品
電力会社申請入力容量6.5VA、雷サージ15kV、明光色
パナソニック NNY20328LE1 (相当品)

照明器具 (B)



ブラケット 60形電球1灯器具相当
LEDフラットランプφ70 クラス700 1灯
昼白色 (5000K)、Ra83
器具光束455lm、消費電力7.7W、電圧100V
拡散タイプ、防雨型、ネジ方式
アルミダイカスト(シルバーメタリック)、カバー：アクリル(乳白)
光源寿命40000時間(光束維持率70%)
W=250 H=250 出しろ115
パナソニック ブラケットXLGE8006CE1 (相当品)

照明器具 (C)



ダウンライト 100形
LED内蔵<ワンコア(ひと粒)タイプ>、電源ユニット内蔵
5000K、Ra85、拡散タイプ
光源遮光角30度、光束維持時間40000時間(光束維持率85%)
器具光束：995lm、消費電力：7W、電圧：100-242V
反射板(上部)：プラスチック(ホワイト)
反射板(下部)：アルミ(銀色鏡面仕上)
枠：鋼板(ホワイトつや消し仕上)、埋込穴φ100
パナソニック ダウンライトXND1037SNLE9 (相当品)

照明器具 (D)



LEDシリーズ直付型40形 Dスタイル W150
一般タイプ、3200lmタイプ
消費電力20.6W、定格出力型、電圧100~242V
本体：鋼板(白色粉体塗装)
ライトバー(カバー)：ポリカーボネート(乳白)
光源寿命40000時間(光束維持率85%)
昼白色(5000K)、Ra83
電源装置はライトバー側に内蔵
パナソニック 直付XLX430AENPLE9 (相当品)

誘導灯



LED C級 避難口誘導灯片面型
LED誘導灯コンパクトスクエア
C級 片面型
壁・天井直付型
一般型(20分間)
ニッケル水素蓄電池
リモコン自己点検機能付
パナソニック FA10312CLE1+FK10300 (相当品)

注記

特記なき配管配線は下記による

2.0	EM-EE-F2.0-3C(1E)	(PF-22)
	EM-EE-F1.6-2C	(PF-16)
	EM-EE-F1.6-3C(1E)	(PF-22)
	EM-EE-F1.6-3C	(PF-22)
	EM-EE-F1.6-2C x2	(PF-22)
	EM-EE-F1.6-2C+3C	(PF-22)
	EM-EE-F1.6-3C x2	(PF-22)
AE	EM-AEO.9-2C	(PF-16)

二重天井内は、ケーブル工事にて配線

設計番号 設計年月日

BE CREATIVE OF SPACE

株式会社 松村設計

TEL072-952-0439 FAX072-952-0454

国史跡二子塚古墳管理棟新築工事

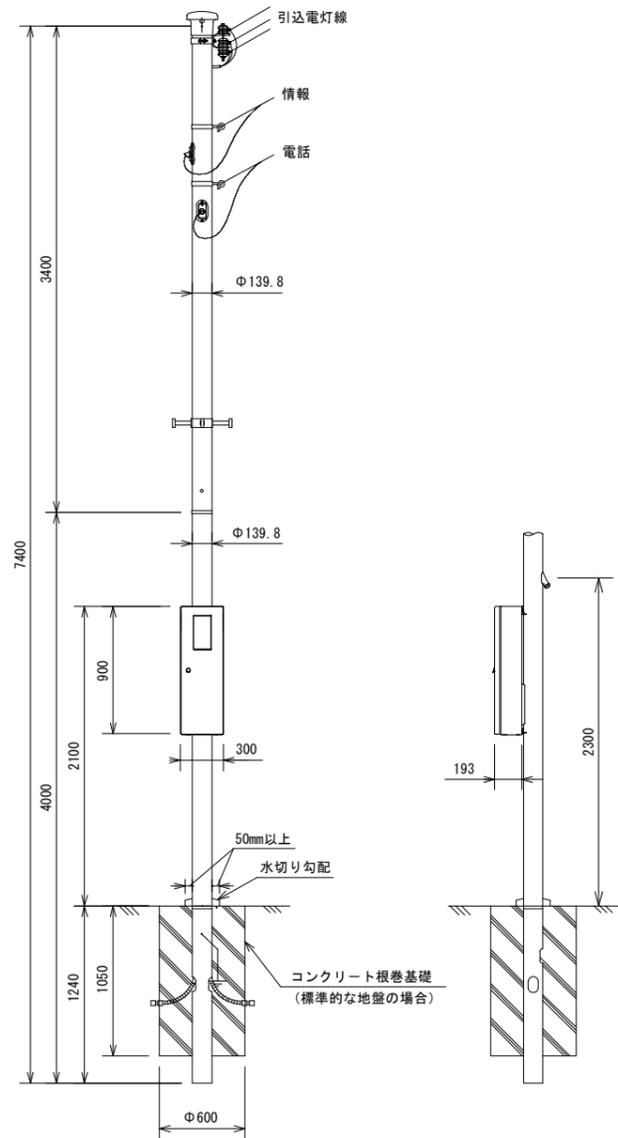
分電盤結線図・照明器具姿図 SCALE 1/n

E - 2

一級建築士 No.128866
松村和吉

引込ポール (XDNC8374Q) 相当品
電灯・通信・防犯灯用

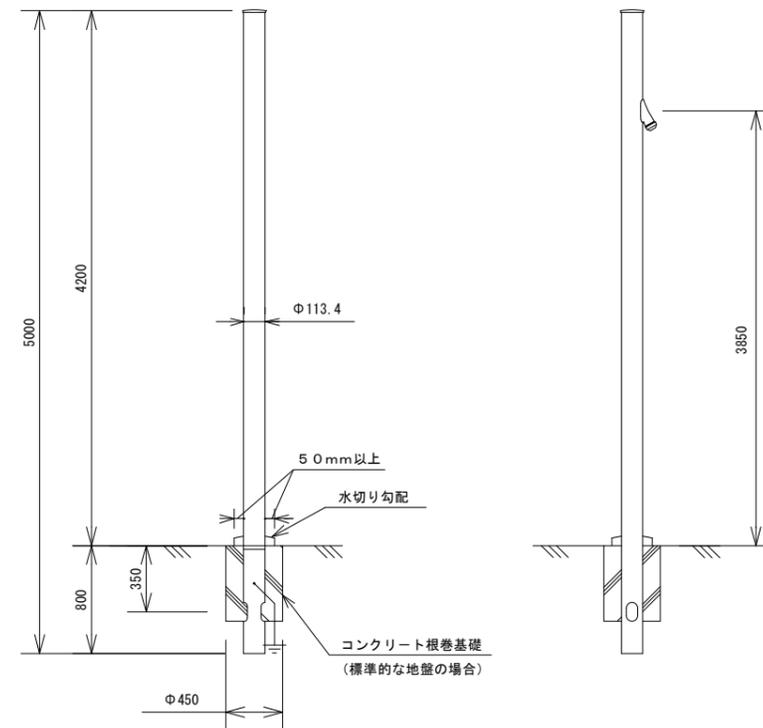
防犯灯用取付金具 (DDF748S) 共



用途	電灯・情報 (CATV)・電話・カメラ (ライト) 用	
全長	7.4m	
表面処理	ポール本体	溶融亜鉛アルミニウム系合金めっき後ポリエチレン樹脂被覆
	ボックス	溶融亜鉛めっき鋼板にアクリル系溶剤塗装
色調	シャンパンブロンズ	
実用最大引き込み径間 (丙種風圧荷重)	1.7m以下	電灯 (DV38mm-3C)
		CATV (同軸ケーブル 7C-2V)
		電話 (鋼芯入屋外線 0.65mm)

機器ポール (XDPB2230H) 相当品
防犯灯又カメラ用

取付金具 (DDT126H) 共



用途	屋外ワイヤレスカメラ/スポットライト	
全長	5.0m	
表面処理	ポール本体	溶融亜鉛アルミニウム系合金めっき後ポリエチレン樹脂被覆
色調	ミディアムグレーメタリック	

設計番号

設計年月日

BE CREATIVE OF SPACE

建築
設計

株式会社 松村設計

TEL072-952-0439 FAX072-952-0454

国史跡二子塚古墳管理棟新築工事

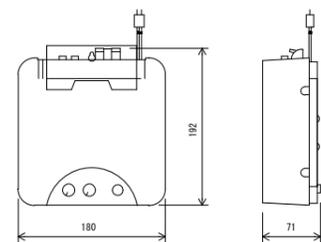
引込ポール・機器ポール詳細図 SCALE 1/n

E - 3

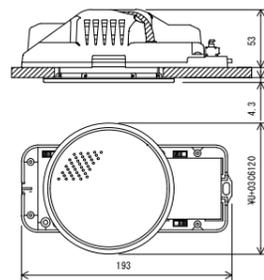
一級建築士 No.128866
松村和吉

放送機器

AMP	簡易型アンプ	TA-102	⊙	天井埋込スピーカー	GM-1230T+CP-123W
-----	--------	--------	---	-----------	------------------

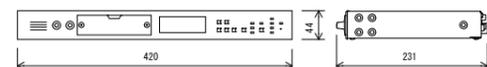


電源	AC100V 50/60Hz
定格出力	10W
入力	マイク、予備MU-00D72
周波数特性	200Hz~12kHz
機能	ミュート回路、1音チャイム内蔵
仕上	樹脂 オフホワイト



定格入力	3W (3.3kVU+03A9), 1W (10kVU+03A9)
出力音圧レベル	92dB (1W, 1m)
周波数特性	160Hz~18kHz
スピーカー	8cmコーン型
音量調節	3段切換
仕上	枠: 樹脂、ネット: アルミパンチング、オフホワイト
その他	取付穴径: MU-0306100mm, 適合天井板厚: 5~25mm

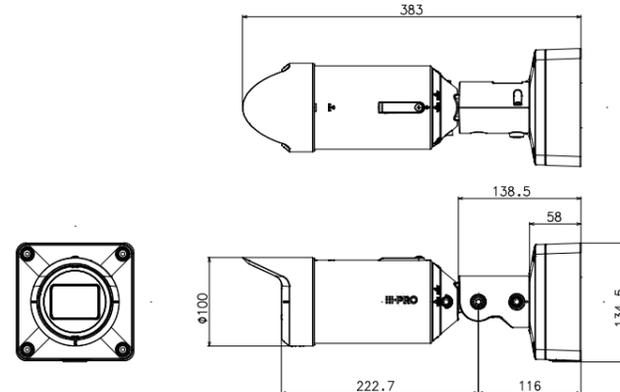
BGM	BGMプレーヤー	NA-3000
-----	----------	---------



電源	外部電源DC24V、着脱式ターミナルプラグ(2P)またはACアダプター(別売)から供給
入出力	外部入力(L, R)、ライン出力(L, R)
制御入力	フェーダー、機器ミュート、調時(接点、有極)制御1~4
制御出力	外部起動1~3、ビジー、異常、制御1~4
モデム接続I/F	RS-232C, D-sub9ピン
時刻調整	NTPサーバー、手動、接点・有極信号入力
時計精度	月差±30秒以内(20℃)
内蔵音源	サンプル音源10種(付属メモリーカードに付属)
機能	スタンダアロン運用時: 専用ソフトウェア(無償)による音源・放送スケジュール登録(日間・週間・月間・年間対応) サービス契約時(*1): ネットワーク経由による遠隔からの音源・放送スケジュール登録(日間・週間・月間・年間対応)、自動時刻調整、システム状態確認、スケジュール設定バックアップ (*1) サービス利用には契約およびネットワーク環境の手配が別途必要です。 サービス契約により、契約会社保有音源も利用可能となります。
その他	LCD表示、メモリーカード(32GB)1枚実装済

監視カメラ機器

□	屋外カメラ	WVS15500V3LN
---	-------	--------------

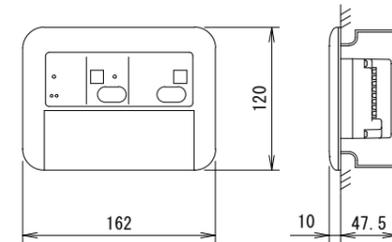


電源	DC12V 約12W、PoE (IEEE802.3af準拠) 約11.5W
撮像素子・有効画素数・走査方式	約1/2.8型 CMOSセンサー・約510万画素・プログレッシブ
最低照度	(F1.3) カラー: 0.004lx、白黒: 0.003lx/0lx (IR LED点灯時)
ネットワーク	10BASE-T/100BASE-TX、RJ45コネクタ
画像解像度(最大)	[16:9] 3072x1728 (30fps) [4:3] 3072x2304 (30fps)
画像圧縮方式	H.265・H.264、JPEG ※独立に4ストリーム分の配信設定可能
スマートコーディング	GOP制御、スマートVQS、スマートPピクチャ制御
レンズ部	f=2.9~9mm (3.1倍、電動ズーム/電動フォーカス)
セキュリティ	ユーザー認証/ホスト認証/HTTPS
防水性・耐衝撃性	IP66、Type4X、NEMA4X 準拠・IK10
機能	アドバンスド観水コート、インテリジェントオート、スーパーダイナミック、逆光/カラー/白黒切換、IR LED、動作検知、妨害検知、音検知、MicroSDスロット、AI機能(拡張機能)
AI機能(拡張機能)	AI-VMD、AIプライバシーガード、顔アプリ、人物属性アプリ、車両属性アプリ

電気錠・非常押釦機器

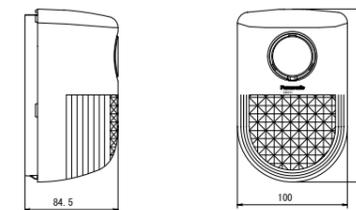
E	電気錠コントローラー	EL-PJP-EA
---	------------	-----------

注記) 電気錠に適合する変換コネクタ共



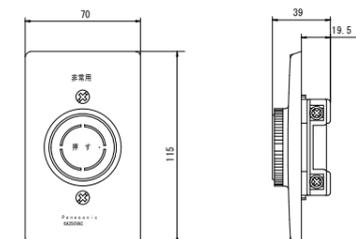
電源電圧	AC100V 50/60Hz
形状	壁埋込形 (JIS3個用/9BOX)
材質	樹脂
備考	警戒警報機能付

B	警報ラッパ付プザー	EA5501
---	-----------	--------



電源電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	動作時: 5W 待機時: 1W
使用周囲温度	-10℃~+50℃
質量	約530g
音圧	警報音: 約90dB

非常押釦	EK50
------	------



電源電圧	6A 250V AC
接触方式	銀合金めっき丸接点
極数	2回路操作型 (2a接点タイプ)
閉閉寿命	(1) 6A250V 連続5000回
耐電圧	1500V 1分間

設計番号 設計年月日

BE CREATIVE OF SPACE
株式会社 松村設計
TEL072-952-0439 FAX072-952-0454

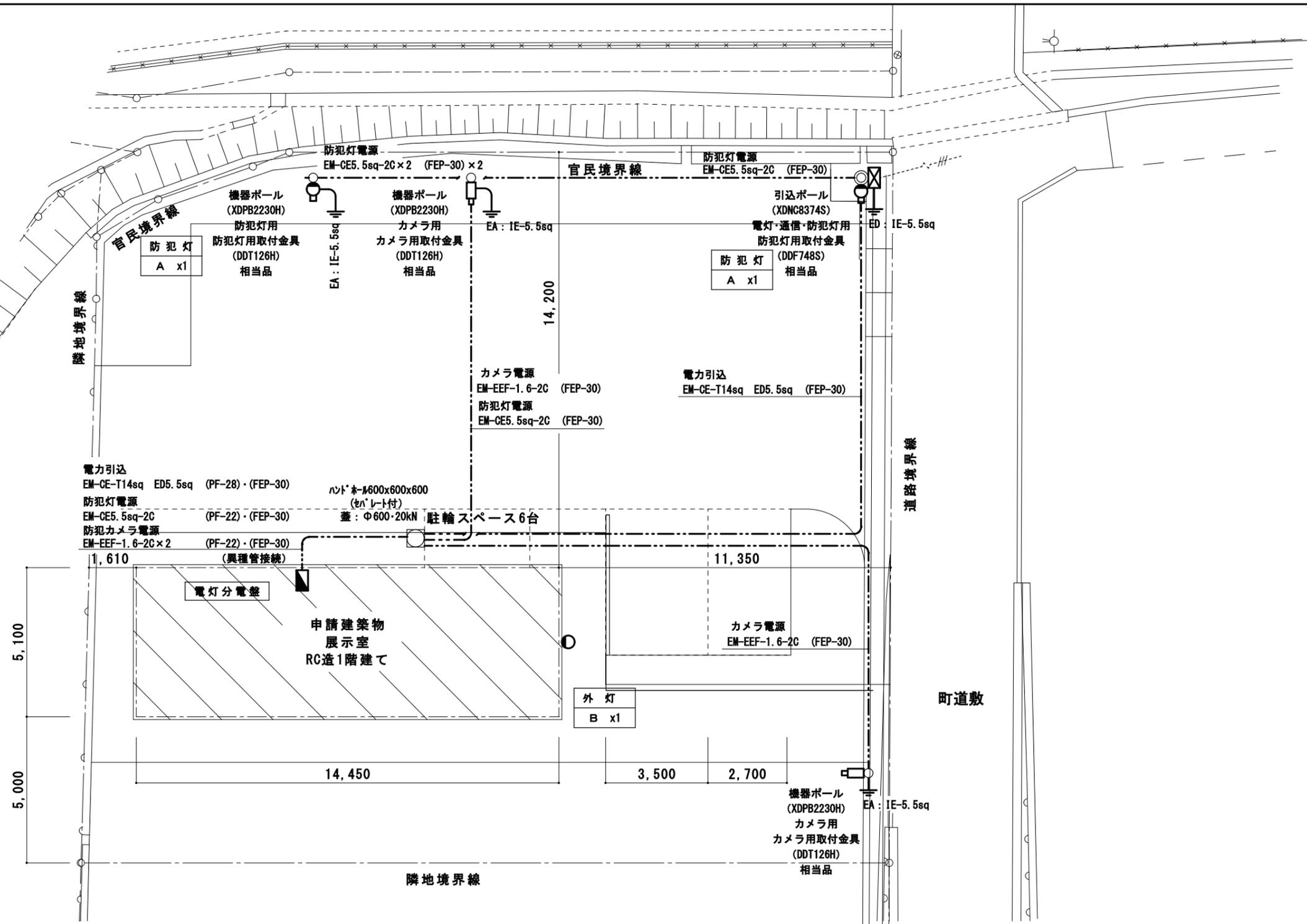
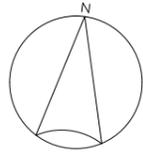
国史跡二子塚古墳管理棟新築工事

弱電機器図

SCALE 1/n

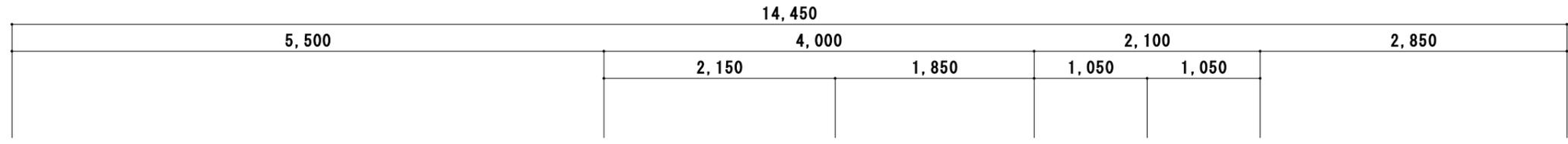
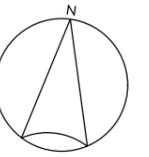
E-4

一級建築士 No.128866
松村和吉



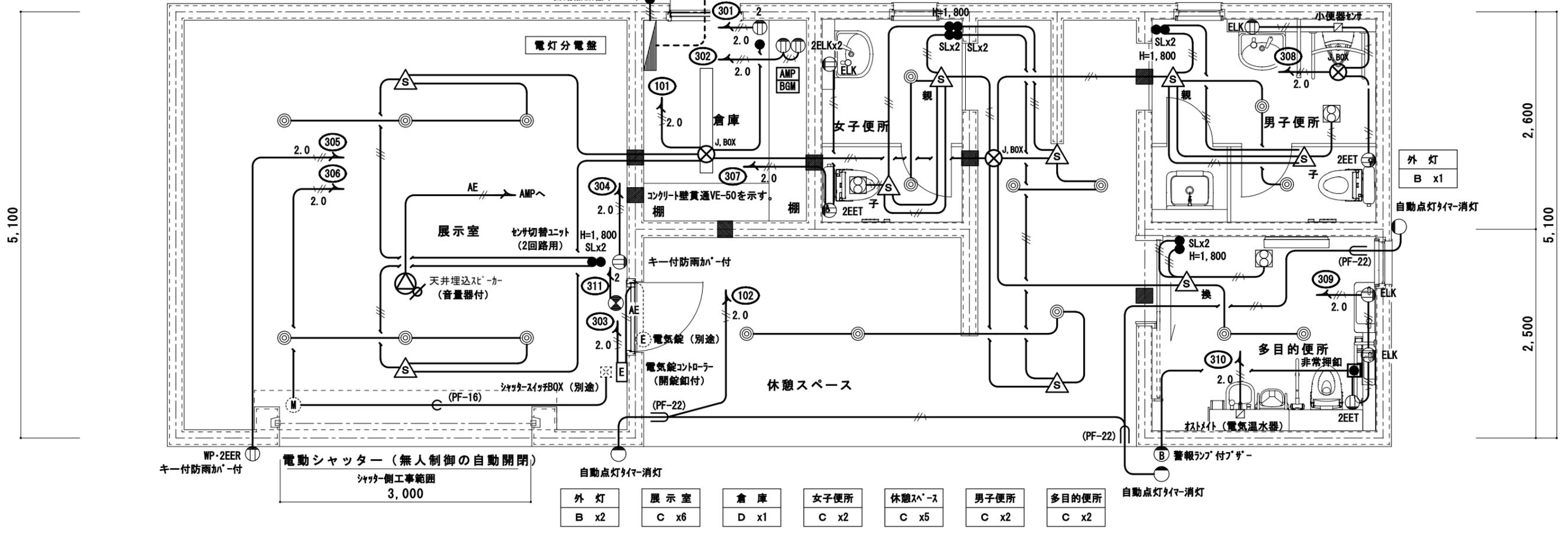
電気設備凡例		
記号	名称	数量
○	防犯用照明器具 (機器ポール取付x1)	1
◎	防犯用照明器具 (引込ポール取付x1)	1
○	防犯カメラ (機器ポール取付x2) (機器図参照)	2

設計番号	設計年月日	国史跡二子塚古墳管理棟新築工事	E - 5
BE CREATIVE OF SPACE			
建築 設計	企画 監理	株式会社 松村設計	電気設備配置図
TEL072-952-0439 FAX072-952-0454		SCALE 1/150	



電力引込
EM-CE-T14sq ED5.5sq (PF-28)・(FEP-30)
防犯灯電源
EM-CE5.5sq-2C (PF-22)・(FEP-30)
防犯カメラ電源
EM-EEF-1.6-2C×2 (PF-22)・(FEP-30)

以降配置図参照



- 外灯
B x2
- 展示室
C x6
- 倉庫
D x1
- 女子便所
C x2
- 休憩スペース
C x5
- 男子便所
C x2
- 多目的便所
C x2

電気設備凡例											
記号	名称	数量	記号	名称	数量	記号	名称	数量	記号	名称	数量
◎	埋込み灯	17	Ⓜ ₂	コンセント 2口	1	▬	分電盤	1	△ _S	人感センサー (天井付)	4
●	壁付け灯 (点灯タイマー)	3	Ⓜ ₂	コンセント 2口 キー付防雨カバー付	1	Ⓜ	電気錠コントローラー	1	△ _S 親	人感センサー (親機)	2
▭	ベースライト露出型	1	Ⓜ _{ELK}	コンセント1口抜け止め、アース付	4	Ⓜ	電動シャッターモーター 単相AC100V 0.13kw	1	△ _S 子	人感センサー (子機・換気対応)	2
Ⓜ	警報ランプ付ブザー	1	Ⓜ _{2EET}	コンセント2口アース付	3	←	換気扇ダクト引き	3	△ _S 換気	人感センサー (換気対応)	1
●	スイッチ	11	Ⓜ _{2ELK}	コンセント2口抜け止め、アース付	2	⊗ J.BOX	ジョイントボックス (VE-5) (ケーブルボックス付)	3			
Ⓜ	天井埋込スピーカー (音声案内タイマー作動)	1	Ⓜ _{WP-2EER}	防水型 キー付防雨カバー付	1	⊗	誘導灯 C級	1			

機械設備工事特記仕様書

工事名称	国史跡二子塚古墳管理棟新築工事
a 一般事項 適用基準	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本特記仕様書の適用は、○印のあるものとする。 ○ 本特記仕様書に記載のない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事共通仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）」（以下「標準仕様書」と言う。）、「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和4年版）」（以下、「標準図」と言う。）による。
疑義	<ul style="list-style-type: none"> ○ 設計図書に明記が無い場合でも、本工事完成上当然必要な工事は契約内にて施工するものとする。 ○ 設計図書の内容に相違のある場合・明記の無い場合・その他疑問を生じた場合、は独断処理せず、監理者と協議の上施工すること。
設計図書等の優先順位	<ul style="list-style-type: none"> ○ 設計図書等の優先順位は次の通りとするが、大きな相違がある場合は監理者と協議して決定する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 現場説明事項（疑義応答書含む） 2) 本特記仕様書 3) 設計図面 4) 内訳明細書 5) 共通仕様書：「標準仕様書」、「標準図」
施工試験、検査	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施工にあたっては共通仕様書、各材料メーカーの仕様書、施工計画書、施工図、承認図に基づいて施工すること。 ○ 本工事の各種試験、検査は別紙事務処理要領に基づいて行い、報告書を提出する。 ○ 立ち会いの要否は監理者の指示に従う。
提出書類	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各工事は関係法令による有資格者の施工とし、着工前に資格証明書を提示し監理者の承認を得ること。 ○ 施工上の許認可届け等は施工者が行う。
b 工事項目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 給水設備：○ 上水 ・ 井水 ・ 給湯設備：・ ガスボイラー ・ 灯油ボイラー ・ 電気温水器 ・ サンヒーター ○ 排水設備：○ 汚水 ○ 雑排水 ・ 合流（汚水・雑排水） ○ 衛生器具設備：○ 器具リスト及び図示による。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ガス設備：・ プロパン ・ 都市ガス ・ 空調設備：・ 電気式 ・ ガス式 ○ 換気設備：○ 局所式 ○ ダクト式
c 施工概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 衛生器具類取付位置については、監督員と十分打ち合わせを行うこと。 ○ 車椅子オストメイト配慮セットの工法については、メーカー施工説明書により施工すること。 ※セット工法は、TOTOまたは、INAXとする。

凡 例			
— G —	給水		床排水金物
— I —	給湯		床上掃除口
— G —	ガス		ベントキャップ
	排水		
	通気		汚水樹（防臭蓋：樹脂製・鋳鉄製） プラスチック製小口径樹。
	水栓		雑排水樹（コンクリート蓋）
	湯栓		量水器・止水栓及びボックス
	混合水栓		鉛カットゲート弁JIS10K 弁樹蓋 B-1
	外部水栓（水栓柱共）	— R —	冷媒
	散水栓（ボックス共）	— D —	ドレン

管 材 料	
給水管	耐衝撃性硬質塩化ビニル管：HIVP ポリエチレン管（2層管）：PP（メーター1次側）
排水管	硬質塩化ビニル管：VP 硬質塩化ビニル管：VU（会所間）
通気管	硬質塩化ビニル管：VP

工事区分表

項 目	建築	機械	電気	その他
床・壁のタイル仕上げ	○			
便器取付に伴う床仕上げ等	○			
天井点検口	○			
床・壁ダイヤモンドカッター貫通		○		
配管用床溝はつり		○		
ウォシュレット及び自動水栓電源工事			○	

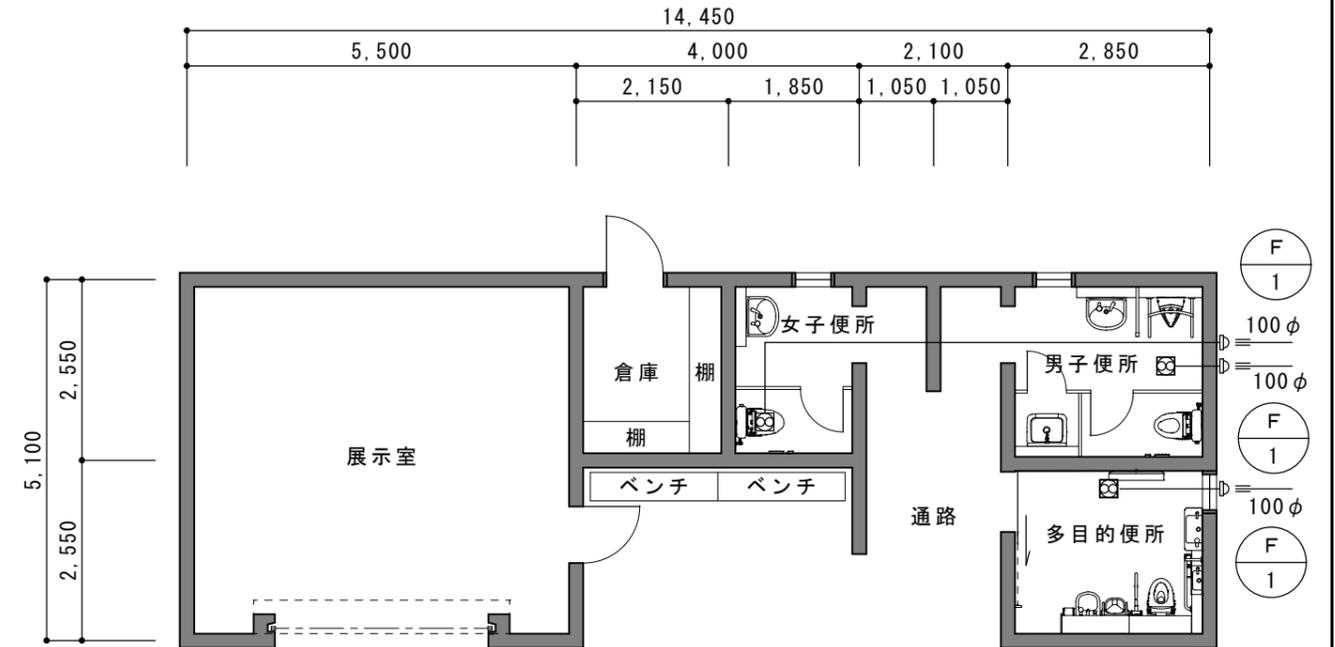
器具リスト

(器具品番は参考とする)

名称	品番	1階男子便所	1階女子便所	多目的便所	外部	計
洋風便器・ウォシュレット	CFS498BCK 擬音装置 ふたなし TCF5830AUY アプリコットP AP2A	1	1			2
壁付洗面器・自動水栓	L250CM 水栓TLE28SS1A 石けん入れTS126AR	1	1			2
掃除用流し	SK22A 水栓T23AE20	1				1
化粧鏡	350×450 YM3545F	1	1			2
壁掛小便器	UFS900R	1				1
手摺	T112CU22	1				1
二連紙巻器	YH702	1	1			2
フック	YKH20R	1	1	1		3
幼児連れの方・車いす・オストメイト配慮セット ベビーチェア、壁掛け式汚物流しあり 以下別売品	UADBK61L1A1ADN2BA			1		1
ウォシュレットアプリコットAP2AK エコリモコンセット	TCF5841AUPNW1			1		1
化粧鏡	YM6090A			1		1
ベビーシート	YKA25S D560×W1145			1		1
散水栓 (BOX共)	キー付き水栓 T28KUNT13 鍵付SUSBOX 6267 カクダイ			1		1

会所柵リスト

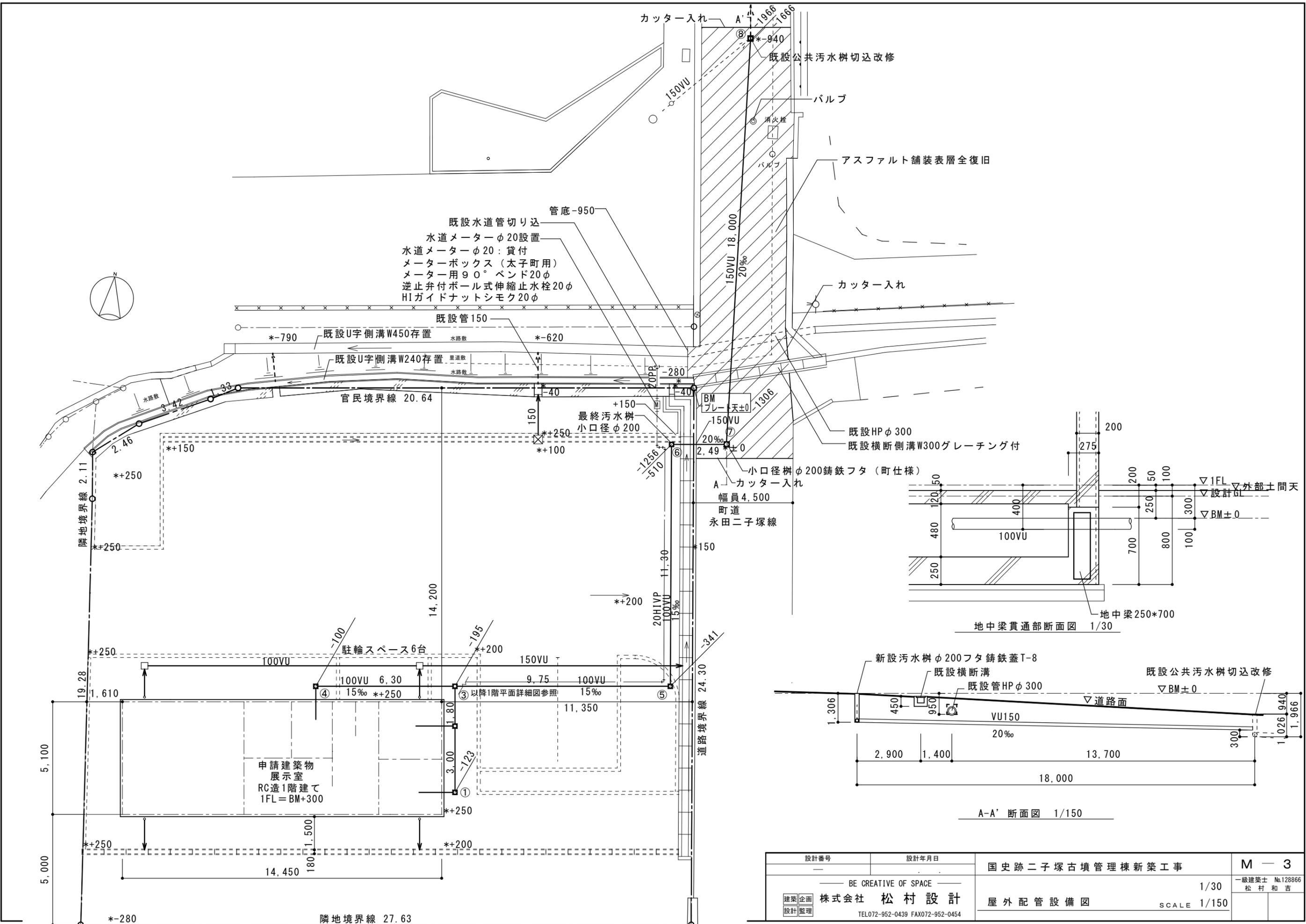
記号	名称	寸法・形状 柵径-配管径-形状	柵深さ (mm)	蓋仕様	備考
①	小口径柵塩ビ製	150φ-100-90L (右)	420	樹脂製150φ	
②	小口径柵塩ビ製	150φ-100-90Y (右)	450	樹脂製150φ	
③	小口径柵塩ビ製	150φ-100-90Y (左)	470	樹脂製150φ	
④	小口径柵塩ビ製	150φ-100-90L (左)	400	樹脂製150φ	
⑤	小口径柵塩ビ製	150φ-100-90L (右)	620	樹脂製150φ	
⑥	公設柵 (小口径柵塩ビ製) ドロップ柵	200φ-150×100-90L (左)	510-1256	樹脂製200φ	太子町仕様
⑦	公設柵 (小口径柵塩ビ製)	200φ-150-90L (右)	1,306	鋳鉄製300φ	太子町仕様 水上キャップ止め
⑧	既設公設柵 公設柵 (小口径柵塩ビ製)	切込改修	1,666	鋳鉄製300φ	太子町仕様



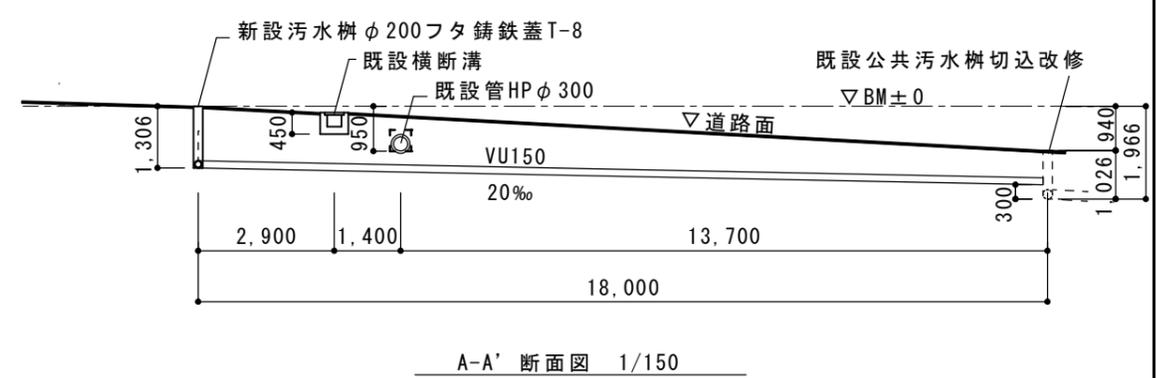
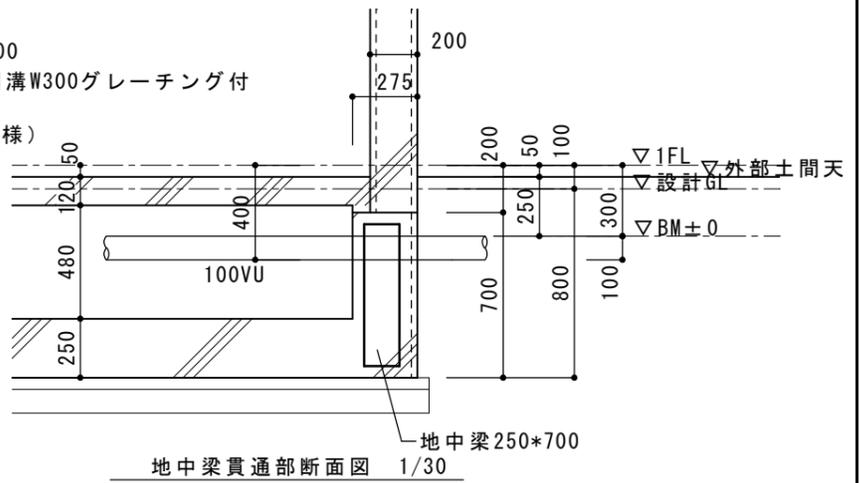
1階換気設備図

換気扇リスト (メーカーはパナソニックまたは同等品)

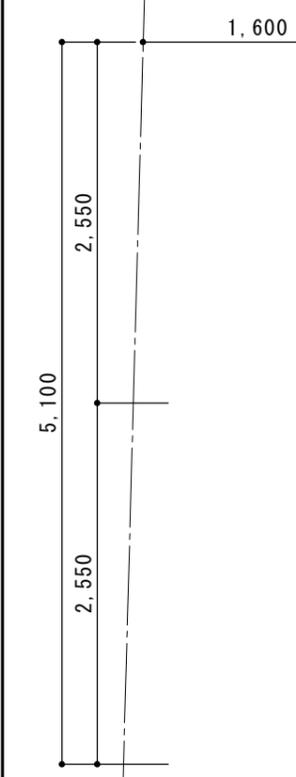
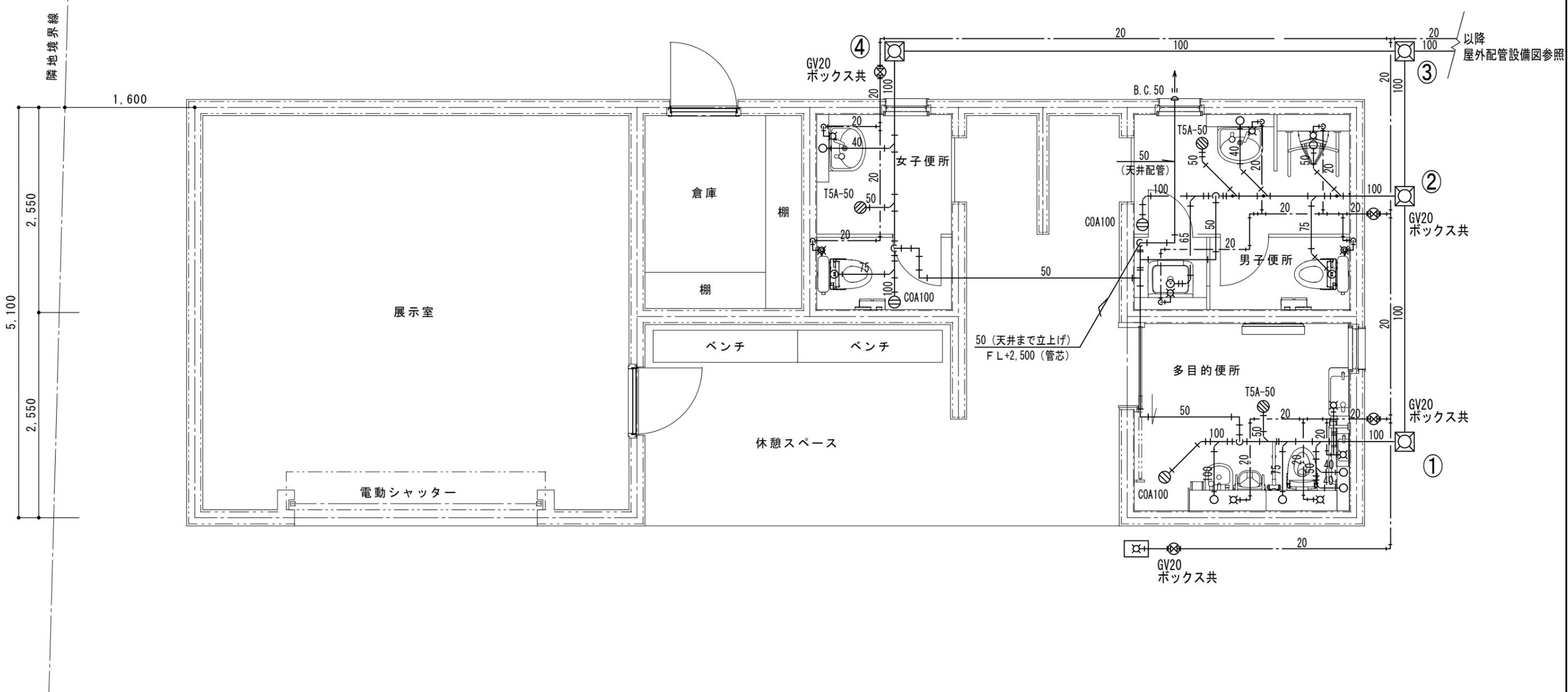
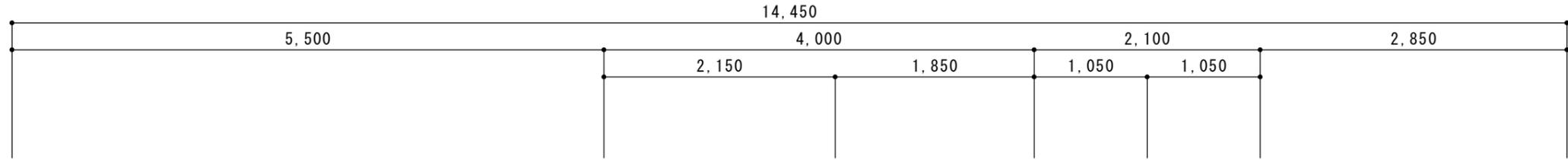
記号	名称	品番	数量	室名
F1	天井埋込換気扇 170角	形式 低騒音インテリア格子タイプ 1φ100V	3	男子便所 女子便所 多目的便所
		有効換気量 常時(強)75m³/h(弱)50m³/h		
		消費電力 3.9W(急速)		
		参考品番 FY-17JDK8 DCモータータイプ		
	付属品等 深形パイプフード FY-MGX043			



既設水道管切り込
 水道メーターφ20設置
 水道メーターφ20：貸付
 メーターボックス（太子町用）
 メーター用90°ベンド20φ
 逆止弁付ボール式伸縮止水栓20φ
 HIガイドナットシモク20φ



設計番号	設計年月日	国史跡二子塚古墳管理棟新築工事	M-3
BE CREATIVE OF SPACE		1/30	一級建築士 No.128866 松村和吉
建築 企画 設計 監理	株式会社 松村設計 TEL072-952-0439 FAX072-952-0454	屋外配管設備図	SCALE 1/150



建築 企画 設計 監理 株式会社 松村設計 <small>TEL072-952-0439 FAX072-952-0454</small>	設計番号 設計年月日	国史跡二子塚古墳管理棟新築工事 1階給排水設備図 SCALE 1/50	M - 4 <small>一級建築士 No.128866 松村和吉</small>
	BE CREATIVE OF SPACE		

